

患者さん及びご家族の 医薬品情報の入手に関する実態調査 —速報—

※後日、疾患別集計や考察を含めた、
詳細版を発行予定です。

2024年7月8日

日本製薬工業協会（製薬協）
医薬品評価委員会 ファーマコビジランス部会
TF1（Dxを活用したリスクコミュニケーション）



背景と目的

【背景】

- ✓ RMPに基づき、追加のリスク最小化活動として患者さん向けの情報提供（追加のRMP資材）が含まれるケースが多く存在するが、その効果検証（どの程度患者さんまたはご家族に届いているか？患者さんまたはご家族が内容を理解しているか？など）は十分に行われていない。
- ✓ 安全性情報に関する市場調査として、患者さんの抱える疾患や行動特性に基づく入手方法の現状や、患者さんの行動変容に繋がるための情報提供方法、それらにおけるDXの利活用の可能性を検討した参考情報はない。
- ✓ 患者さんまたはご家族が医薬品情報を調べる上でインターネット検索が最上位に来るという複数の調査結果がある一方、患者さん向けの最適な情報提供プラットフォームはまだ確立していない状況である。

【目的】

患者さん及びそのご家族による医薬品情報の入手に関する調査を通じて現状を把握する。

調査目的・概要

調査目的	患者さん及びそのご家族による医薬品情報の入手に関する調査を通じて現状を把握する
調査手法	インターネット調査：スクリーニング調査 及び 本調査
調査地域	全国
調査対象者 (本調査対象者条件)	<p>楽天インサイト登録パネルにて調査を実施 下記条件該当者を本調査の対象者とする</p> <ul style="list-style-type: none"> 20歳以上の男女 以下の該当疾患に回答者本人またはご家族が罹患しており、指定薬剤による治療を現在行っている ただし、該当疾患を併発している場合は対象外とする。【本人】と【家族】それぞれに該当する場合は【本人】を優先 【本人】関節リウマチ、2型糖尿病、乳がん、うつ病、アトピー性皮膚炎、過敏性腸症候群 【家族】乳がん、うつ病、アトピー性皮膚炎
設問数	スクリーニング調査：8問 本調査：22問
サンプルサイズ	本調査：n=971
サンプル割付	<p>疾患ごとにn=100</p> <ul style="list-style-type: none"> ただし、【本人】乳がんは以下の条件ごとに回収し、n=200とする。※両方に該当する場合、乳がん（分子標的薬）に割付 乳がん（ホルモン療法）：ホルモン療法、または小分子化合物を処方されている患者_n=129 乳がん（分子標的薬）：分子標的薬、または免疫チェックポイント阻害薬を処方されている患者_n=71 【家族】アトピー性皮膚炎はn=100回収未達のため、n=71
実査期間	2024年2月6日（火）～2月9日（金）

Executive Summary (1/2)

本速報版では、主にアンケート全体の概要を示した。疾患別集計や考察を含めた詳細版を、後日発行予定である。

<回答者の属性について>

- ✓ 性別は、男女ほぼ同数であった。性別は50代が最も多く、次いで60代、40代が多かった。

<治療前のお薬や副作用についての説明内容>

- ✓ お薬について説明を最も受けた内容は、医師からは「薬の効果」、薬剤師からは「薬のみ方/使い方、のむ/使う期間」。治療前に知りたいと思っていた最も多かった内容は「薬の効果」であった。
- ✓ 医師、薬剤師ともに、説明内容は「薬の効果」「薬のみ方/使い方、のむ/使う期間」「薬の種類」が上位3つを占めるが、患者さんやご家族は「薬の種類」よりも「薬をのんでいる/使っている間の生活上の注意事項」を求めており、医師&薬剤師と患者さん&ご家族の間でギャップがみられた。
- ✓ 副作用について説明を受けた内容は、医師、薬剤師ともに「具体的な副作用症状」が最も高く、次いで「副作用が起こったときの対応方法」であった。治療前に知りたいと思っていた内容も同様であった。

<インターネットで薬について検索する際のアクション比較と特定サイトへのアクセスの有無>

- ✓ 処方薬について情報収集する際に利用する検索ツール・SNSは、「Google」、「Yahoo!」、「YouTube」の順が多かった。
- ✓ “検索エンジンを利用”することが多い人は8割程度で、“特定サイトへ最初からアクセスする”ことが多くない人がほとんどであった。
- ✓ 提示したサイトの中で、「アクセスしたことがある」と回答されたのは、「製薬会社のウェブサイト」、「医療機関のウェブサイト」、「患者さん向けの医療情報サイト」の順が多かった。
- ✓ 検索結果のアクションについて、“まずは一番上に表示されたものから見る”ことが多く5割程度で、“検索結果をひと通りみてから気になった情報を見る”ことが多く2割程度であった。

Executive Summary (2/2)

<情報収集の際の不安内容>

- ✓ 「正しい情報にたどり着けているかどうか分からない、どの情報が信頼できるのかわからない」が最も高く、次いで「内容が難しすぎてわからない、正しく理解できているかどうか自信がない」が続いた。

<気になる症状（副作用）発生時にインターネットを使用した対応>

- ✓ 処方薬についてインターネットで情報収集する際に利用するキーワードは、「薬の名前のみ」、「薬の名前」+「疾患名」の組み合わせ、「薬の名前」+「疾患名」+「症状や副作用名」の組み合わせの順に多かった。
- ✓ 起こった気になる症状（副作用）をインターネットで検索する際に使用するキーワードは、「気になる症状名や副作用名のみ」、「薬の名前のみ」、「薬の名前」+「疾患名」+「症状や副作用名」の組み合わせの順に多かった。
- ✓ 処方薬については「調べたことはない」は33%であったが、副作用については「自分では調べない」は10%となっており、ご自身やご家族に影響がある場合には自発的に情報を調べる様子が見られた。

<製薬会社のウェブサイトで最初に閲覧する情報媒体>

- ✓ どの端末においても、PDFや動画よりも、通常の検索結果の情報を最初に閲覧する割合が高かった。

Summary (1)

<検索結果からの選択_インターネットの検索結果>

Q8 必須 「あなたご自身」が処方されている以下の疾患の**治療のためのお薬**（ABC錠：製造販売元 XYZ製薬株式会社とします）について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下の結果が表示されました。
情報のタイトルやクリックした先の情報がどれも同じで、**情報の発信元だけが異なる場合**、あなたはどれを選ぶと思いますか。
最もあてはまるものをお知らせください。

※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。

【該当疾患】
関節リウマチ

検索結果については、以下の4つについてランダムで表示

- 1. ●PMDA
ABC錠を服用される方へ**PMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）**
2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。
詳細ページ、ページ.1. 製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード.で検索...
- 2. ●XYZ製薬会社
ABC錠を服用される方へ**XYZ製薬株式会社**
2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。
詳細ページ、ページ.1. 製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード.で検索...
- 3. ●ZZ大学病院
ABC錠を服用される方へ**ZZ大学病院**
2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。
詳細ページ、ページ.1. 製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード.で検索...
- 4. ●日本臨床XX学会
ABC錠を服用される方へ**日本臨床XX学会**
2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。
詳細ページ、ページ.1. 製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード.で検索...

- ✓ 情報の内容が同じで発信元が異なる場合、最初に閲覧する情報として、最も多く選ばれたのは製薬会社(36%)で、次いで学会(28%)→PMDA→医療機関の順であった。
- ✓ 選択理由としては、製薬会社は「必要な情報がありそう」、学会、PMDA、医療機関は「信頼ができそう」の割合が最も高かった。

【選択肢の1つである、PMDAの表記を「PMDA（厚生労働省所管 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）」に変更後】

- ✓ 最初に閲覧する情報として、最も多く選ばれたのはPMDA(34%)で、次いで製薬会社(30%)→学会→医療機関の順であった。

Summary (2)

<検索結果からの選択_製薬会社のウェブサイト>

Q11 必須 「あなたご自身」が処方されている以下の疾患の**治療のためのお薬**（ABC錠とします）について、あなたご自身がインターネットで検索したら、ABC錠の製造販売会社であるXYZ製薬株式会社のサイトの以下の情報が表示されました。
あなたは、どの情報を最初に見るとお考えですか。

※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。

【該当疾患】
関節リウマチ

検索結果については、以下*をランダムで表示

- 1. ABC錠を服用される患者さんへ
- 2. ABC錠 添付文書
- 3. ABC錠の副作用について
- 4. ABC錠の適正使用情報
- 5. ABC錠ってどことなくすり？
- 6. ABC錠 くすりのしおり
- 7. ABC錠 患者向医薬品ガイド
- 8. どれをみたら良いかわからない

*副作用情報を見たいという設定の場合のみ、「医薬品リスク管理計画書」も選択肢に追加

- ✓ お薬全般について、最初に見たい情報として最も多く選ばれたのが「どことなくすり？」(34%)であった。次いで「服用される患者さんへ」(20%)→「副作用について」の順であった。
選択理由としては、「服用される患者さんへ」、「副作用について」は「必要な情報がありそう」の割合が最も高かった。「どことなくすり？」は「必要な情報がありそう」、「分かりやすそう」がほぼ同じ割合であった。
- ✓ 副作用について、最初に見たい情報として最も多く選ばれたのが「副作用について」(37%)であった。次いで「どことなくすり？」(18%)→「服用される患者さんへ」の順であった。
選択理由としては、「副作用について」は「必要な情報がありそう」、「どことなくすり？」は「分かりやすそう」の割合が最も高かった。「服用される患者さんへ」は「必要な情報がありそう」、「分かりやすそう」が同じ割合であった。

Summary (3)

<検索結果からの選択_お薬について情報がまとまったサイト>

検索結果：以下の順番で表示

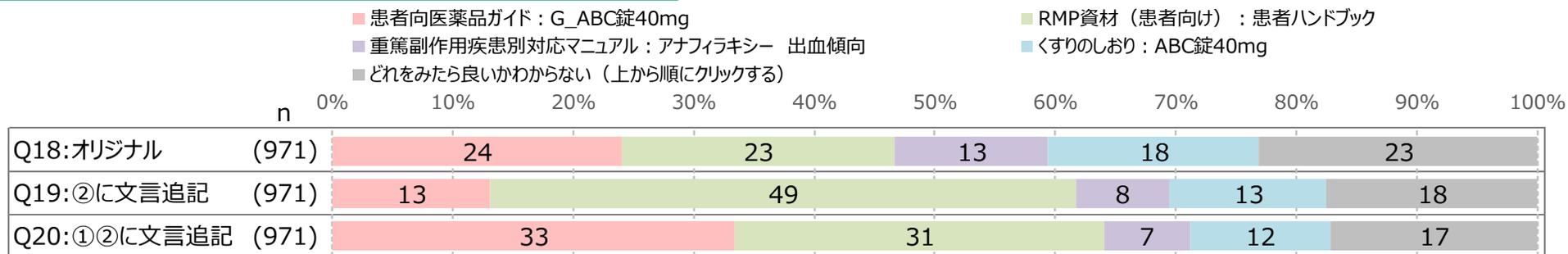
一般名	セイヤクニブフマル酸塩	<input type="radio"/>	1. 患者向医薬品ガイド：G_ABC錠40mg
販売名	ABC錠40mg	<input type="radio"/>	2. RMP資材（患者向け）：患者ハンドブック
製造販売業者等	製造販売/XYZ製薬株式会社	<input type="radio"/>	3. 重篤副作用疾患別対応マニュアル：アナフィラキシー 出血傾向
患者向医薬品ガイド	① G_ABC錠40mg	<input type="radio"/>	4. くすりのしおり：ABC錠40mg
RMP資材	患者向け ② 患者ハンドブック	<input type="radio"/>	5. どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）
重篤副作用疾患別対応マニュアル	③ アナフィラキシー 出血傾向		
くすりのしおり	④ ABC錠40mg		

<Q18（左図）からの変更点>

Q19:「患者向けRMP資材」に「まずは、こちらからお読みください」の文言を追記

Q20:「患者向医薬品ガイド」に「医薬品を使用するときに、患者さんやご家族に特に知っていただきたいことを記載しています。」
「患者向けRMP資材」に「患者さんにご注意いただきたいことをわかりやすくまとめた冊子です。」

の文言を追記



✓ 最初に閲覧する情報として最も多く選ばれたのが、Q18では「患者向医薬品ガイド」、Q19では「患者向けRMP資材」、Q20では「患者向医薬品ガイド」であった。Q19やQ20では文言追記の影響がみられた。

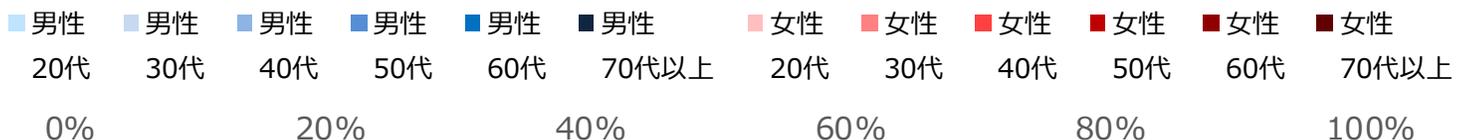
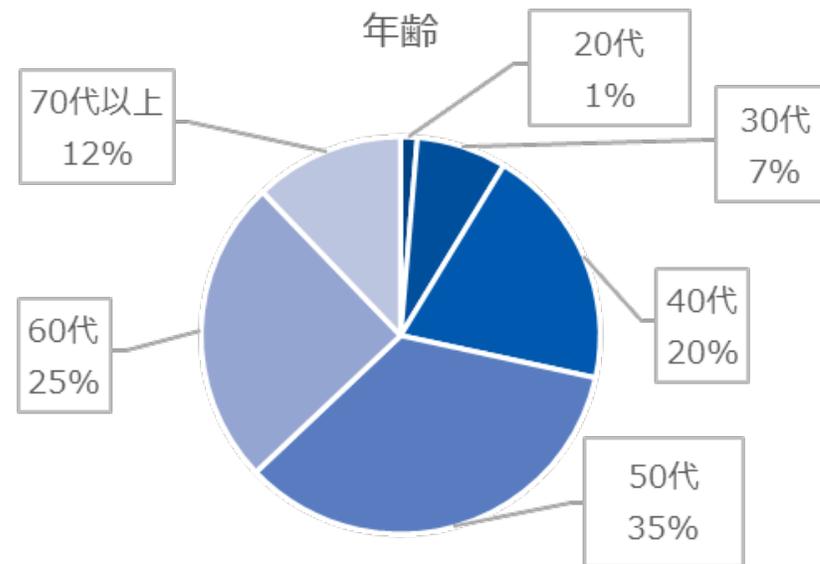
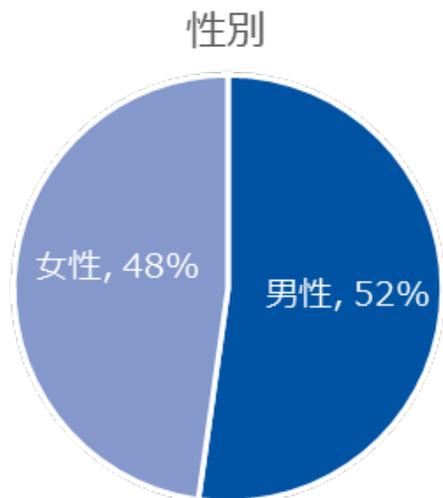
✓ なお、文言追記があった場合でも、「どれをみたら良いかわからない」が2割程いることから、影響を受けない層が一定数いることが確認された。

まとめ

- ✓ 本速報版では、主にアンケート全体の概要を示した。
- ✓ お薬の情報をインターネットで検索し結果を閲覧する場合、“必要な情報がありそう”などの理由から「製薬会社のウェブサイト」を最初に閲覧する割合が最も高かった。“信頼ができそう”という理由で「PMDA」を選ぶ対象者はもともといたものの、“厚生労働省所管”といった認知されている省庁名を付け加えただけで、優先的に選ぶ人が約1.7倍に増えることが確認された。
- ✓ 製薬会社のウェブサイトで表示される検索結果の見出しについては、「服用される患者さんへ」、「副作用について」、「どことなくすり？」など、内容をイメージできたり、わかりやすい文言で示されている情報を選ぶ傾向がみられた。
- ✓ お薬について情報がまとまったサイトで表示される検索結果については、「まずは、こちらからお読みください」など注目を集める文言を併記することで、より最初に閲覧されやすくなることが確認された。

対象集団の属性情報

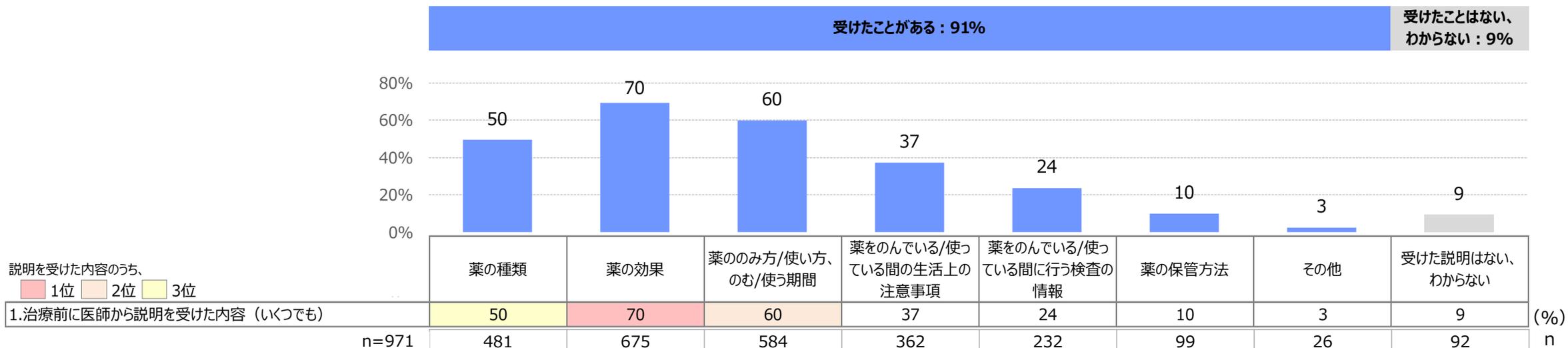
本調査の対象である、患者さん及びご家族の属性情報の概要は以下のとおり



※2%未満の数値は非表示

治療前に医師から説明を受けた内容_お薬について

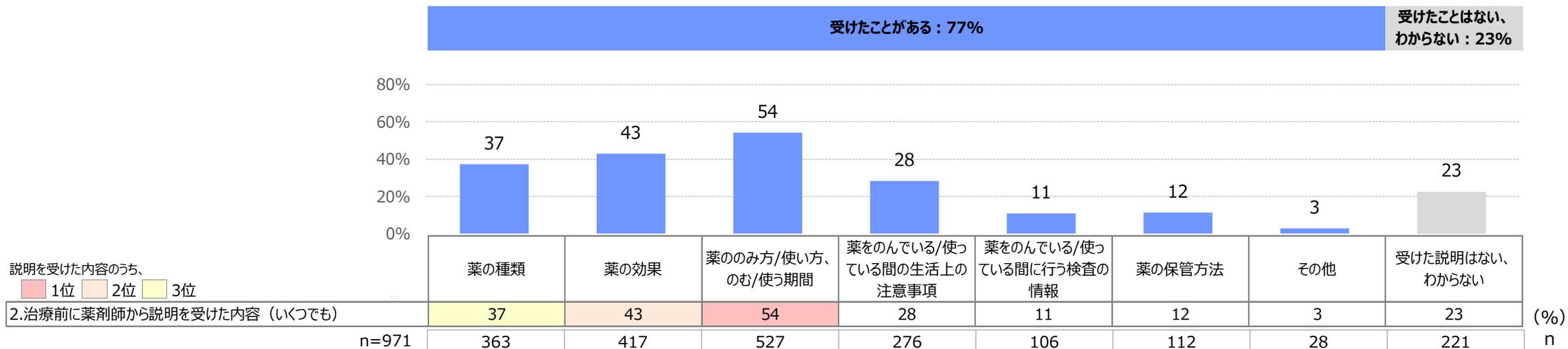
- 治療前に医師から説明を「受けたことがある」が91%、「受けたことはない、わからない」が9%であった。
- 説明を受けた内容は、「薬の効果」が70%で最も高く、次いで「薬ののみ方/使い方、のむ/使う期間」、「薬の種類」が続いた。



Q1. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、治療前に説明を受けた内容 (いくつでも) や治療前に知りたいと思っていたこと (最大3つまで) について、あてはまる内容をお知らせください。 【該当疾患】 (選択された疾患名) * *割付に応じて表示

治療前に薬剤師から説明を受けた内容_お薬について

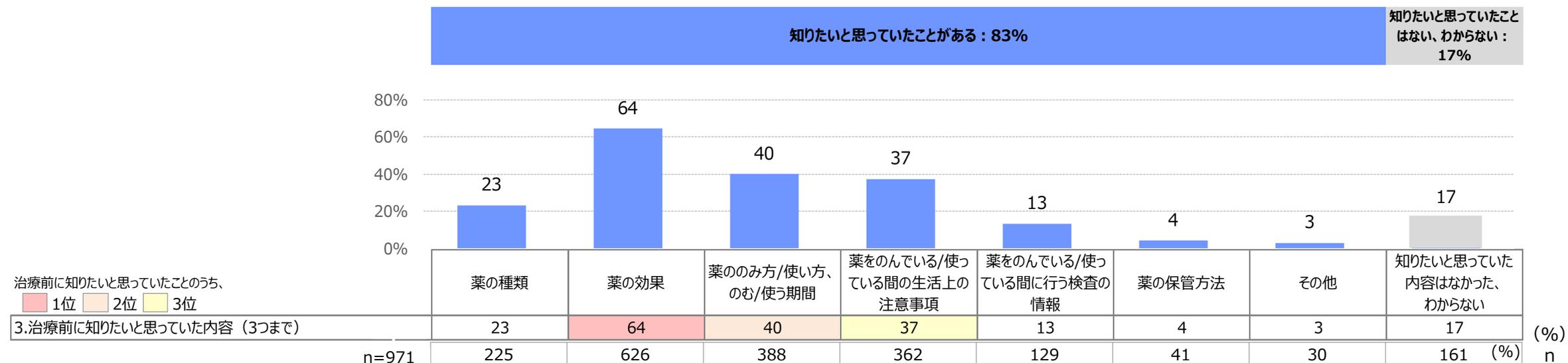
- 治療前に薬剤師から説明を「受けたことがある」が77%、「受けたことはない、わからない」が23%であった。
- 説明を受けた内容は、「薬ののみ方/使い方、のむ/使う期間」が54%で最も高く、次いで「薬の効果」、「薬の種類」が続いた。



Q1. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、治療前に説明を受けた内容 (いくつでも) や治療前に知りたいと思っていたこと (最大3つまで) について、あてはまる内容をお知らせください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

治療前に知りたいと思っていたこと_お薬について

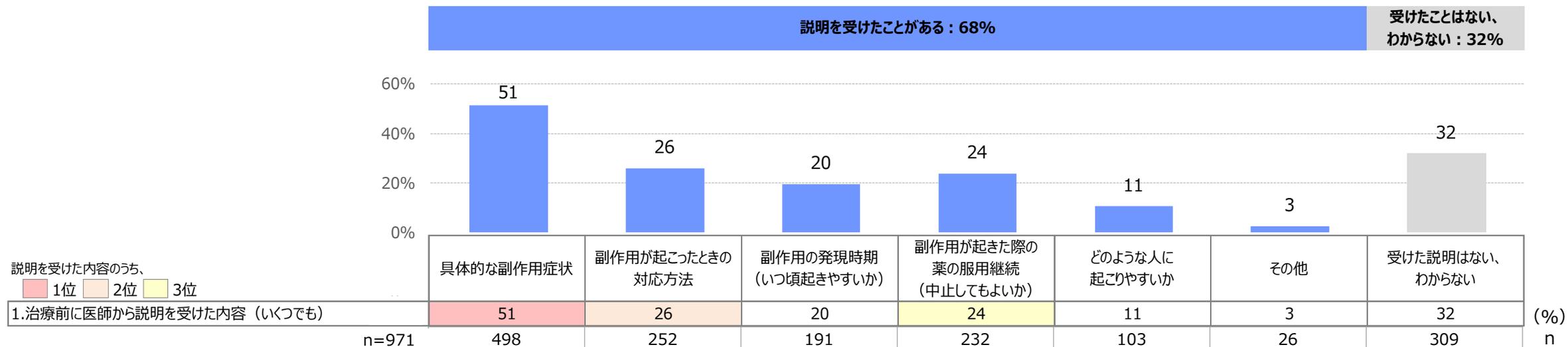
- 治療前に「知りたいと思っていたことがある」が83%、「知りたいと思っていたことはない、わからない」が17%であった。
- 治療前に知りたいと思っていたことは、「薬の効果」が64%で最も高く、次いで「薬のみ方/使い方、のむ/使う期間」、「薬をのんでいる/使っている間の生活上の注意事項」が続いた。



Q1. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、治療前に説明を受けた内容 (いくつでも) や治療前に知りたいと思っていたこと (最大3つまで) について、あてはまる内容をお知らせください。 【該当疾患】 (選択された疾患名) * *割付に応じて表示

治療前に医師から説明を受けた内容_副作用について

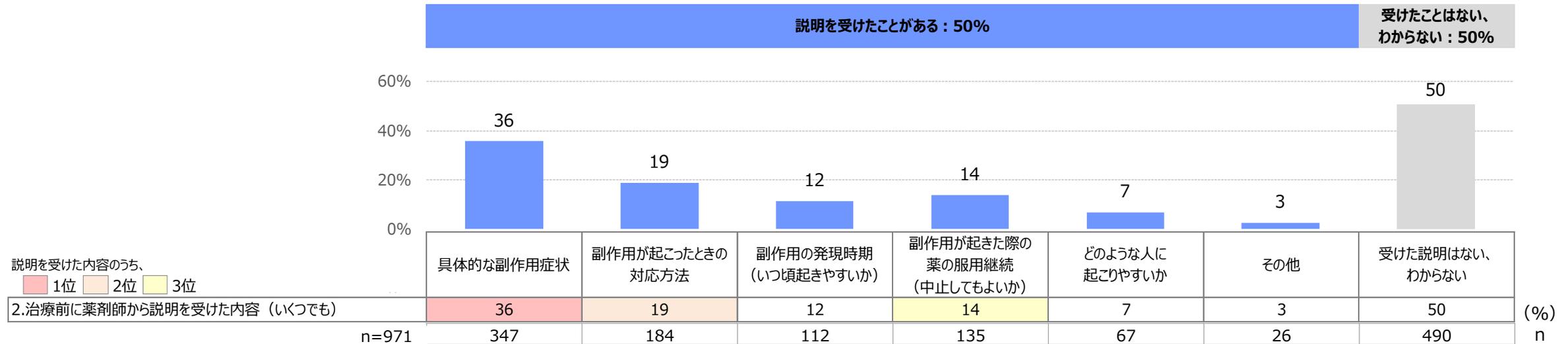
- 治療前に医師から説明を「受けたことがある」が68%、「受けたことはない、わからない」が32%であった。
- 説明を受けた内容は、「具体的な副作用症状」が51%で最も高く、次いで「副作用が起こったときの対応方法」が続いた。



Q2. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬の副作用について、治療前に説明を受けた内容 (いくつでも) や治療前に知りたかったこと (最大3つまで) について、あてはまる内容をお知らせください。 【該当疾患】 (選択された疾患名) * *割付に応じて表示

治療前に薬剤師から説明を受けた内容_副作用について

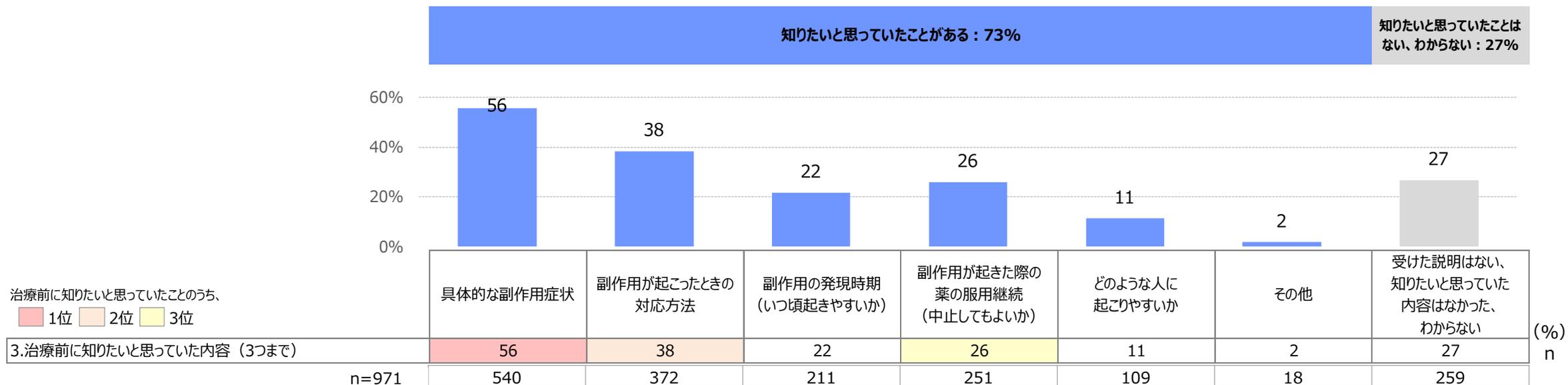
- 治療前に薬剤師から説明を「受けたことがある」が50%、「受けたことはない、わからない」が50%であった。
- 説明を受けた内容は、「具体的な副作用症状」が36%で最も高く、次いで「副作用が起こったときの対応方法」が続いた。



Q2. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬の副作用について、治療前に説明を受けた内容 (いくつでも) や治療前に知りたかったこと (最大3つまで) について、あてはまる内容をお知らせください。 【該当疾患】 (選択された疾患名) * *割付に応じて表示

治療前に知りたいと思っていたこと_副作用について

- 治療前に「知りたいと思っていたことがある」が73%、「知りたいと思っていたことはない、わからない」が27%であった。
- 治療前に知りたいと思っていたことは、「具体的な副作用症状」が56%で最も高く、次いで「副作用が起こったときの対応方法」、「副作用が起きた際の薬の服用継続」が続いた。

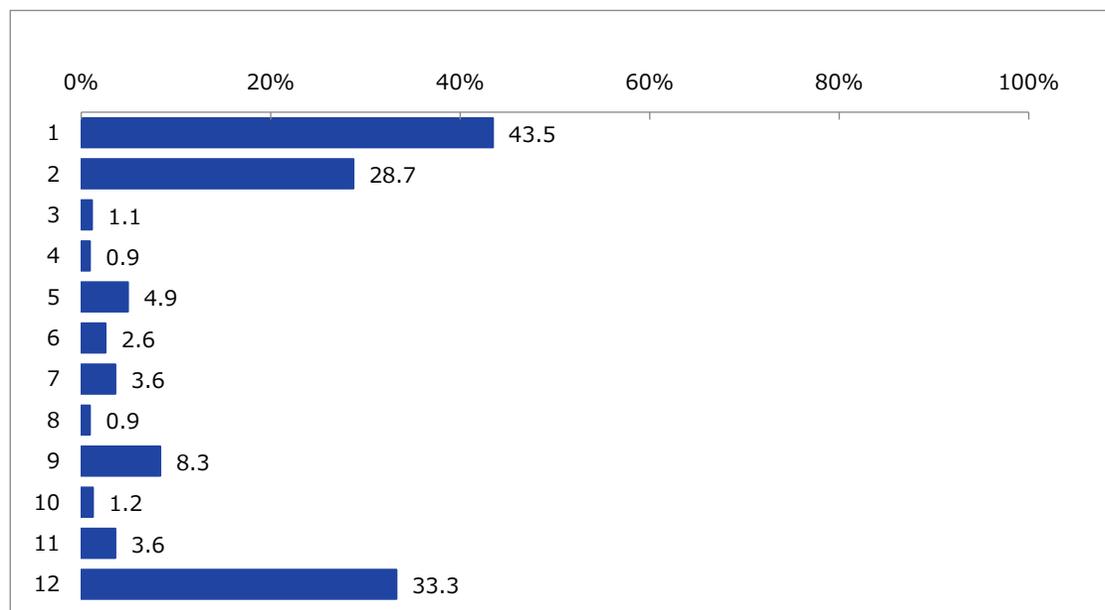


Q2. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬の副作用について、治療前に説明を受けた内容 (いくつか) や治療前に知りたいと思っていたこと (最大3つまで) について、あてはまる内容をお知らせください。 【該当疾患】 (選択された疾患名) * *割付に応じて表示

処方された薬に対する情報収集の際の検索ツール、アプリ

■ 「Google」が43%で最も高く、次いで「Yahoo!」、「YouTube」が続いた。「調べたことはない」は33%であった。

	n	%
全体	971	100.0
1 Google	422	43.5
2 Yahoo!	279	28.7
3 Bing	11	1.1
4 AIチャットボット (Chat GPTなど)	9	0.9
5 検索ツール以外の特定のサイト	48	4.9
6 Instagram	25	2.6
7 X (旧Twitter)	35	3.6
8 TikTok	9	0.9
9 YouTube	81	8.3
10 Facebook	12	1.2
11 その他	35	3.6
12 調べたことはない	323	33.3

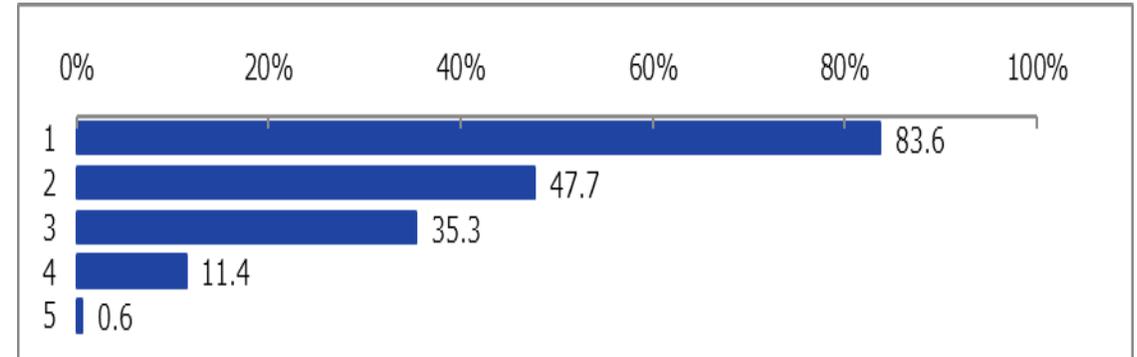


Q3. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身で調べたことはありますか。
 調べるときに使ったことがある検索ツールやアプリについて、あてはまるものをすべてお知らせください。(いくつでも) 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

処方された薬に対する情報収集の際の検索ワード

- 「薬の名前」が84%で最も高く、次いで「疾患名」（48%）が続いた。
- 組み合わせで見ると、「薬の名前のみ」、「薬の名前」+「疾患名」、「薬の名前」+「疾患名」+「症状や副作用名」の順で多かった。

	n	%
全体	648	100.0
1 薬の名前	542	83.6
2 疾患名	309	47.7
3 治療中に気になった症状や副作用名	229	35.3
4 薬を作っている会社名	74	11.4
5 その他	4	0.6



複数検索時のキーワード順位

1位：薬の名前（35.2%）

2位：薬の名前＋疾患名（20.5%）

3位：薬の名前＋疾患名＋気になる症状名や副作用名（12.9%）

4位：疾患名（5.7%）

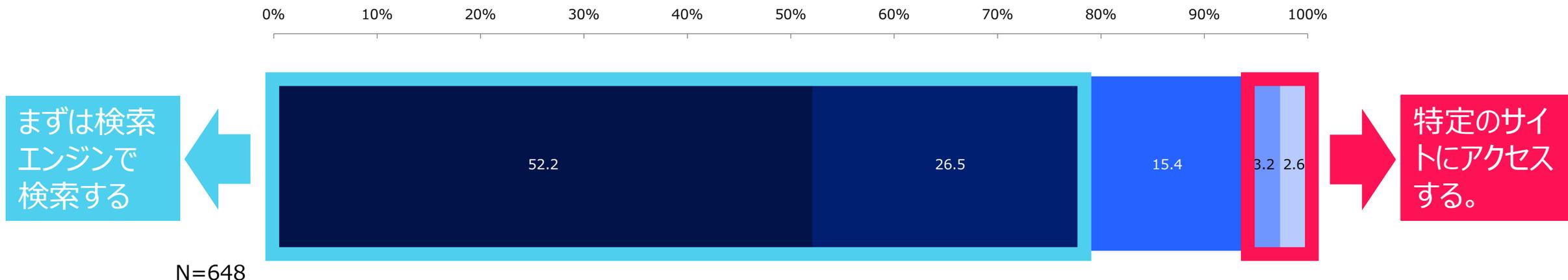
薬の名前＋気になる症状名や副作用名（5.7%）

※回答ベース：
処方されたお薬について自分で調べたことがある人

Q4. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身で調べるときに、どのようなキーワードを使って調べていますか。
あてはまるものをすべてお知らせください。(いくつでも) 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

インターネットで薬について検索する際のアクション1

■ 「A:検索エンジンの利用」計*が79%、「B:特定サイトへのアクセス」計*が6%で、検索エンジンを利用して調べる方が多かった。



※回答ベース：
処方されたお薬について自分で調べたことがある人

- Aがほとんど (Aが80~100%/Bが0~20%)
- どちらかというAが多い (Aが60~80%/Bが20~40%)
- A、Bともに同程度 (Aが40~60%/Bが40~60%)
- どちらかというBが多い (Aが20~40%/Bが60~80%)
- Bがほとんど (Aが0~20%/Bが80~100%)

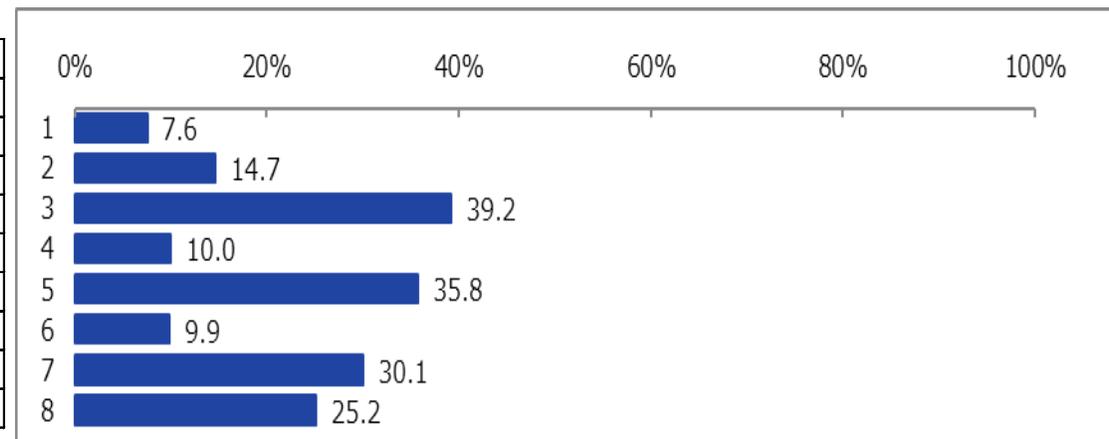
*「A：検索エンジンの利用」計：
「Aがほとんど」+「どちらかというAが多い」の合計
「B：特定サイトへのアクセス」計：
「Bがほとんど」+「どちらかというBが多い」の合計

Q5. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身がインターネットで調べるときに、一番最初のアクションとしては「A.検索エンジンの利用」と「B.特定サイトへのアクセス」のどちらが多いですか。あなたの行動に最もあてはまるものをお知らせください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

特定サイトへのアクセスの有無

- 「製薬会社のウェブサイト」が39%で最も高く、次いで「医療機関のウェブサイト」、「患者さん向けの医療情報サイト」が続いた。

	n	%
全体	648	100.0
1 PMDA（医薬品医療機器総合機構）のウェブサイト	49	7.6
2 くすりの適正使用協議会（くすりのしおり）のウェブサイト	95	14.7
3 製薬会社のウェブサイト	254	39.2
4 学会サイト	65	10.0
5 医療機関（病院、クリニック、薬局）のウェブサイト	232	35.8
6 患者会のウェブサイト	64	9.9
7 患者さん向けの医療情報サイト（Qlife、おくすり110番、メドレーなど）	195	30.1
8 上記でアクセスしたことがあるウェブサイトはない	163	25.2

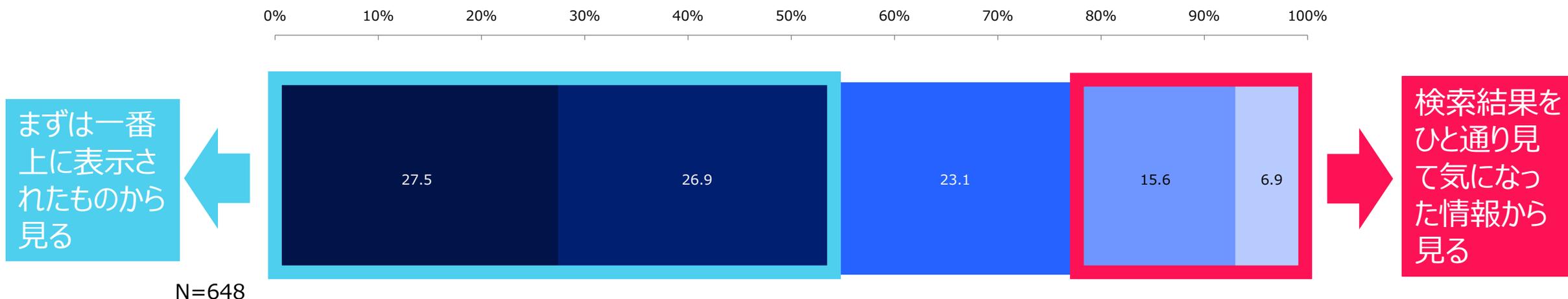


※回答ベース：
処方されたお薬について自分
で調べたことがある人

Q6.（あなたご自身）又は（現在あなたと同居中のご家族）*が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身がインターネットで調べるときに以下のようなサイトに今までアクセスしたことがありますか。アクセスしたことがあるサイトをすべてお知らせください。（いくつでも） 【該当疾患】（選択された疾患名）* *割付に応じて表示

インターネットで薬について検索する際のアクション2

■ 「A:まずは一番上に表示されたものから見る」計*が54%、「B:検索結果をひと通り見て気になった情報から見る」計*が23%で、検索結果については「まずは一番上に表示されたものから見る」方が多かった。



※回答ベース：
処方されたお薬について自分で調べたことがある人

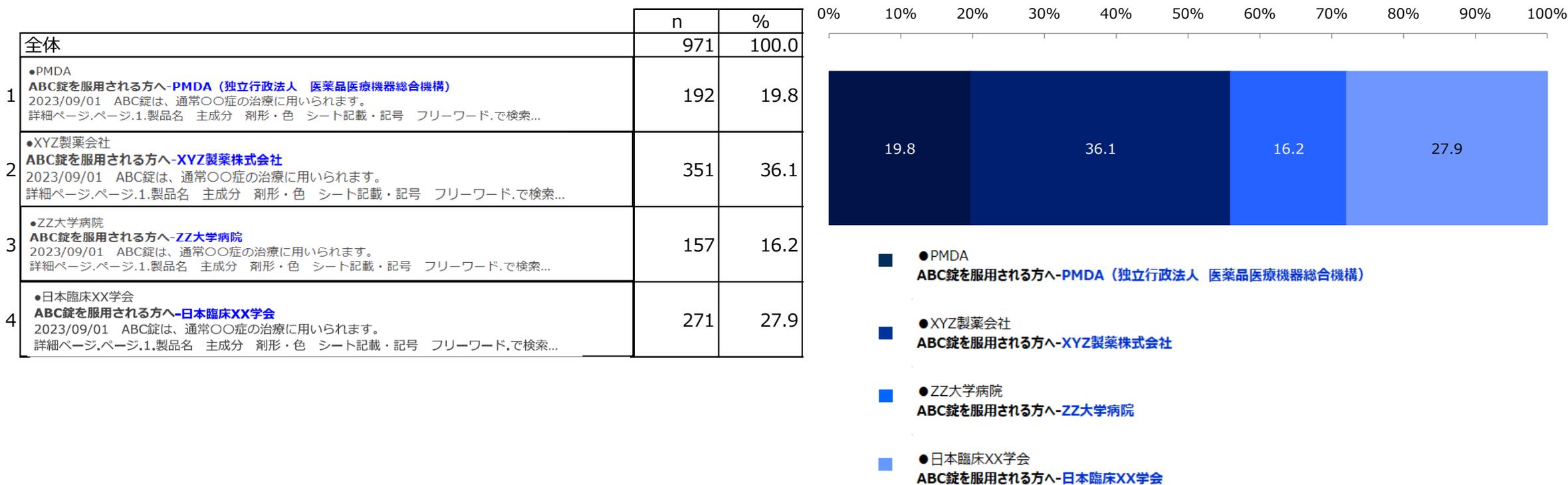
- Aがほとんど (A80~100%/Bが0~20%)
- どちらかというともAが多い (Aが60~80%/Bが20~40%)
- A、Bともに同程度 (A40~60%/B40~60%)
- どちらかというともBが多い (Aが20~40%/Bが60~80%)
- Bがほとんど (Aが0~20%/B80~100%)

*「A：まずは一番上に表示されたものから見る」計：
「Aがほとんど」+「どちらかというともAが多い」の合計
「B：検索結果をひと通り見て気になった情報から見る」計：
「Bがほとんど」+「どちらかというともBが多い」の合計

Q7. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身が調べるために、インターネットの「検索エンジンを利用」して出てきた検索結果から情報を見ていくとき、「A.まずは一番上に表示されたものから見る」と「B.検索結果をひと通り見て気になった情報から見る」のどちらが多いですか。あなたの行動に最もあてはまるものをお知らせください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択①

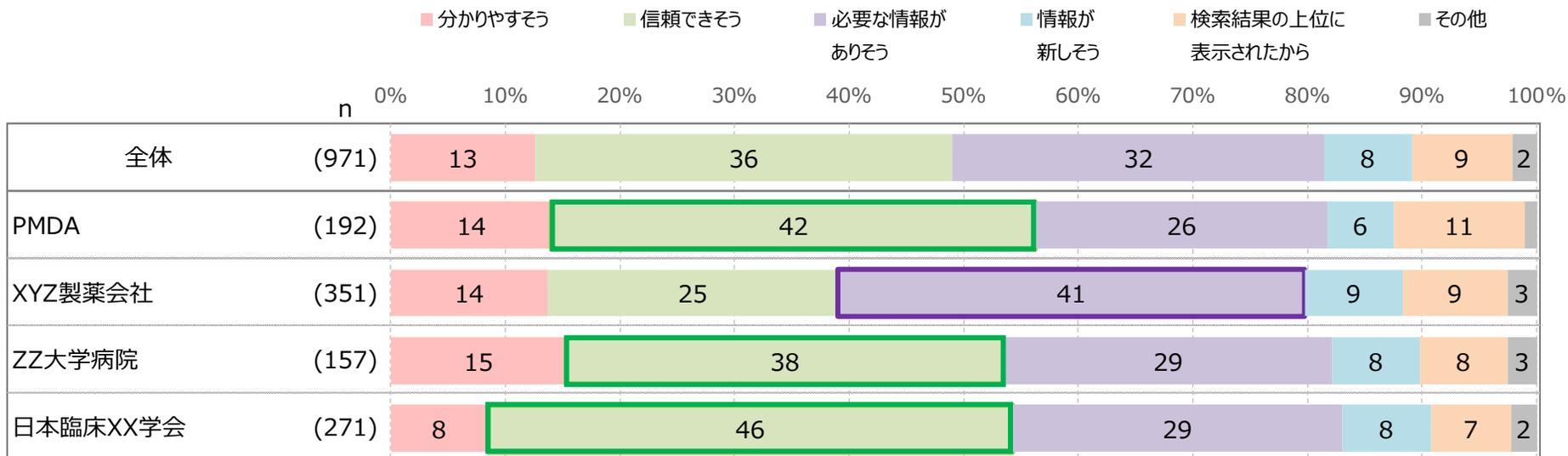
- 得られる情報が同じで情報の発信元だけが異なる場合に選ばれたのは、「XYZ製薬会社」が36%で最も高く、次いで「日本臨床XX学会」が続いた。



Q8. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠: 製造販売元 XYZ製薬株式会社とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下の結果が表示されました。情報のタイトルやクリックした先の情報がどれも同じで、情報の発信元だけが異なる場合、あなたはどれを選ぶと思いますか。最もあてはまるものをお知らせください。※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択①_理由

- “XYZ製薬会社”では「必要な情報がありそう」、「XYZ製薬会社」以外では「信頼できそう」が最も高かった。
- それ以外の理由は、どの検索結果でも1割程度であった。



※2%未満の数値は非表示

Q9. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠: 製造販売元 XYZ製薬株式会社とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下のように表示された内容を最も選ぶと思うとお答えになりましたが、その理由として最もあてはまるものをお知らせください。

【該当疾患】(選択された疾患名) * 【表示された内容から最も選ぶと思う】(Q8 で選択した内容が表示) *割付に応じて表示

検索結果からの選択②

■ PMDAの表示を変えてQ8と同じ質問をしたところ、「PMDA」（厚生労働省所管の記載あり）が34%で最も高く、次いで「XYZ製薬会社」が続いた。

	n	%
全体	971	100.0
1 ●PMDA ABC錠を服用される方へ-PMDA（厚生労働省所管 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構） 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	331	34.1
2 ●XYZ製薬会社 ABC錠を服用される方へ-XYZ製薬株式会社 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	289	29.8
3 ●ZZ大学病院 ABC錠を服用される方へ-ZZ大学病院 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	141	14.5
4 ●日本臨床XX学会 ABC錠を服用される方へ-日本臨床XX学会 2023/09/01 ABC錠は、通常〇〇症の治療に用いられます。 詳細ページ、ページ.1.製品名 主成分 剤形・色 シート記載・記号 フリーワード、で検索...	210	21.6



Q10.（あなたご自身）又は（現在あなたと同居中のご家族）*が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬（ABC錠：製造販売元 XYZ製薬株式会社とします）について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下の結果が表示されました。情報のタイトルやクリックした先の情報がどれも同じで、情報の発信元だけが異なる場合、あなたはどれを選ぶと思いますか。最もあてはまるものをお知らせください。
※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。※Q8とは異なり、下記のPMDAという組織の説明が一部変更されています。
【該当疾患】（選択された疾患名）* *割付に応じて表示

検索結果からの選択③

■ 複数の情報が表示された場合、最初に閲覧するのは、「ABC錠ってどんなくすり？」が34%で最も多く、次いで「ABC錠を服用される患者さんへ」が続いた。

	n	%
全体	971	100.0
1 ABC錠を服用される患者さんへ	195	20.1
2 ABC錠 添付文書	48	4.9
3 ABC錠の副作用について	137	14.1
4 ABC錠の適正使用情報	55	5.7
5 ABC錠ってどんなくすり？	334	34.4
6 ABC錠 くすりのしおり	56	5.8
7 ABC錠 患者向医薬品ガイド	53	5.5
8 どれをみたら良いかわからない	93	9.6

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

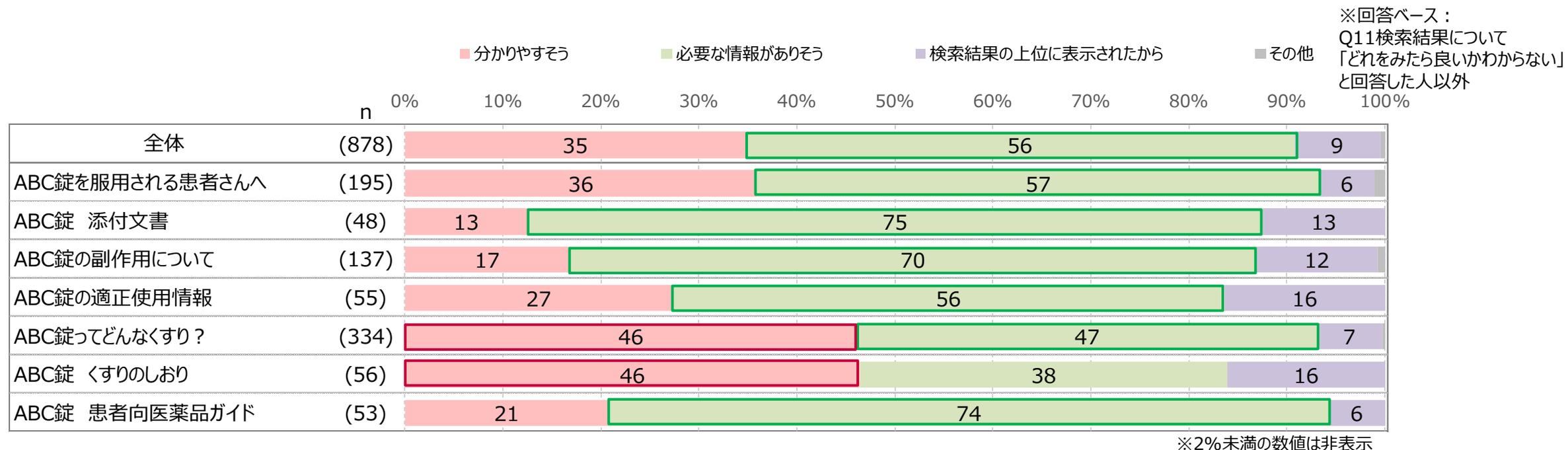


■ ABC錠を服用される患者さんへ
 ■ ABC錠 添付文書
 ■ ABC錠の副作用について
■ ABC錠の適正使用情報
 ■ ABC錠ってどんなくすり？
 ■ ABC錠 くすりのしおり
■ ABC錠 患者向医薬品ガイド
 ■ どれをみたら良いかわからない

Q11. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、ABC錠の製造販売会社であるXYZ製薬株式会社のサイトの以下の情報が表示されました。あなたは、どの情報を最初に閲覧すると思いますか。
 ※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。 【該当疾患】 (選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択③_理由

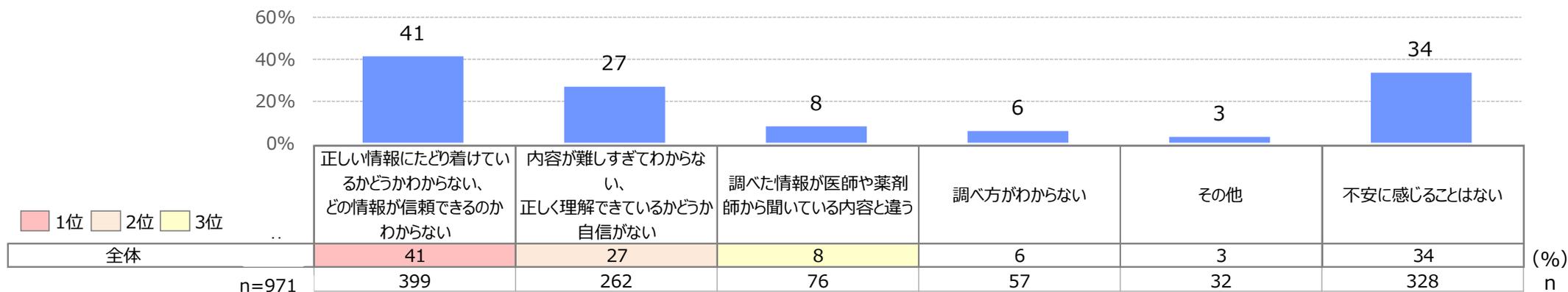
- 最初に関覧するほとんどの内容で「必要な情報がありそう」が最も高かったが、“ABC錠 くすりのしおり”では「分かりやすそう」が最も高かった。
- なお、“ABC錠ってどんなくすり？”では「必要な情報がありそう」と「分かりやすそう」はほぼ同等であった。



Q12. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、以下の内容を最初に関覧すると思うとお答えになりましたが、その理由として最もあてはまるものをお知らせください。 【該当疾患】(選択された疾患名) *
 【最初に関覧する内容】(Q11で選択した内容が表示) *割付に応じて表示

情報収集の際の不安の有無

■ 情報収集の際に不安を感じていることは、「正しい情報にたどり着けていない、どの情報が信頼できるかわからない」が41%で最も高く、次いで「内容が難しすぎてわからない、正しく理解できているかどうか自信がない」が続いた。

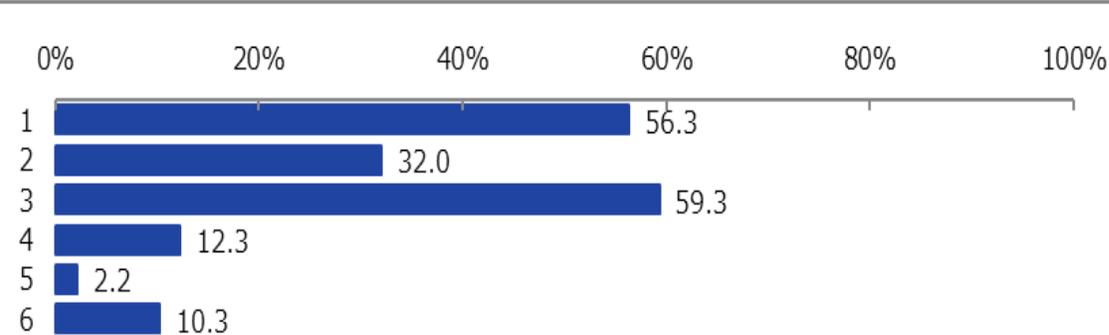


Q14. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬について、あなたご自身で調べるとき、不安を感じることがありますか。不安を感じるがあれば、あてはまるものをすべてお知らせください。(いくつでも) 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

副作用発生時の検索について

- 「気になる症状名や副作用名」が59%で最も高く、次いで「薬の名前」、「疾患名」が続く。「ご自身では調べない」は10%であった。
- 組み合わせで見ると、「気になる症状名や副作用名のみ」、「薬の名前のみ」、「薬の名前」+「疾患名」+「症状や副作用名」の順で多かった。

	n	%
全体	971	100.0
1 薬の名前	547	56.3
2 疾患名	311	32.0
3 気になる症状名や副作用名	576	59.3
4 薬を作っている会社名	119	12.3
5 その他	21	2.2
6 ご自身では調べない	100	10.3



複数検索時のキーワード順位

1位：気になる症状名や副作用名（24.2%）

2位：薬の名前（19.8%）

3位：薬の名前 + 疾患名 + 気になる症状名や副作用名（15.2%）

4位：薬の名前 + 気になる症状名や副作用名（13.8%）

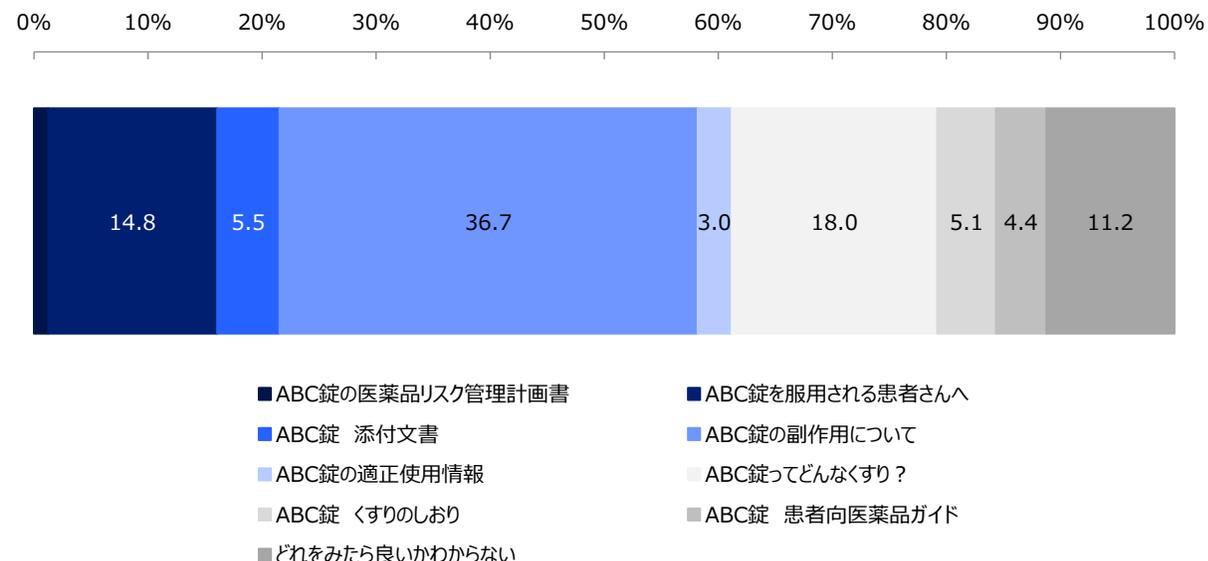
5位：薬の名前 + 疾患名 + 気になる症状名や副作用名 + 薬を作っている会社名（6.2%）

Q15. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬を服用/使用している間に、病院や救急に連絡するほどではないが、気になる症状 (副作用) が起こった場合を想定して、以下の質問にお答えください。(あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *に起こった気になる症状 (副作用) について、あなたご自身でインターネットで調べるといいますか。インターネット検索をする場合、どのようなキーワードを使うかあてはまるものをすべてお知らせください。(いくつでも) 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択_副作用情報

■ 複数の情報が表示された場合、最初に閲覧するのは、「ABC錠の副作用について」が37%で最も多く、次いで「ABC錠ってどなんくすり?」、「ABC錠を服用される患者さんへ」が続いた。

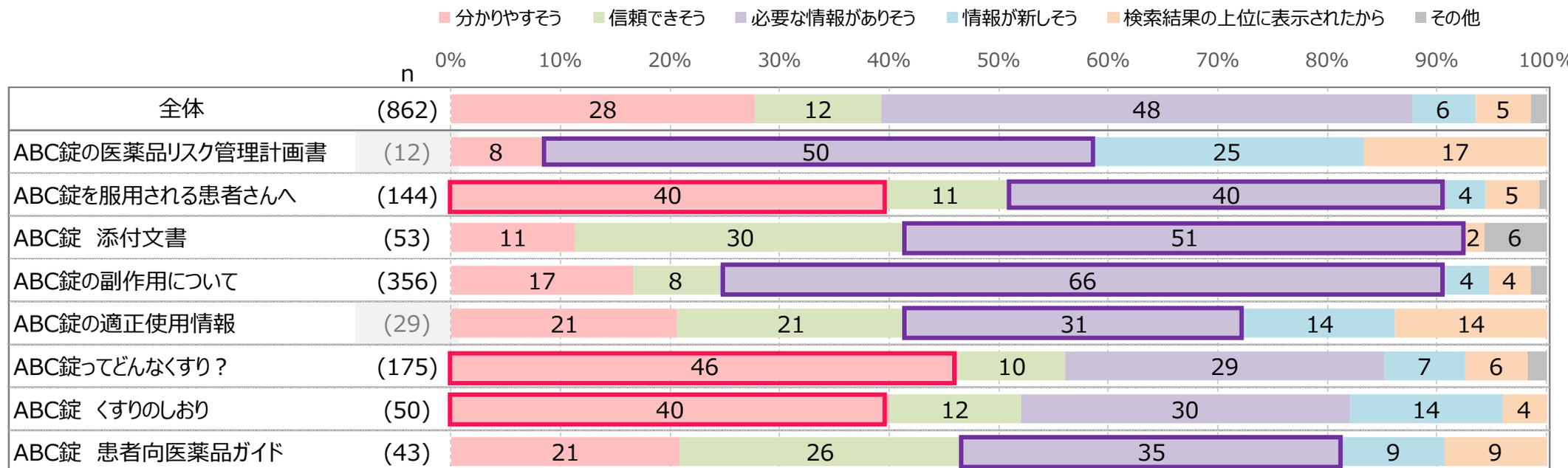
	n	%
全体	971	100.0
1 ABC錠の医薬品リスク管理計画書	12	1.2
2 ABC錠を服用される患者さんへ	144	14.8
3 ABC錠 添付文書	53	5.5
4 ABC錠の副作用について	356	36.7
5 ABC錠の適正使用情報	29	3.0
6 ABC錠ってどなんくすり?	175	18.0
7 ABC錠 くすりのしおり	50	5.1
8 ABC錠 患者向医薬品ガイド	43	4.4
9 どれをみたら良いかわからない	109	11.2



Q16. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) の副作用について、あなたご自身がインターネットで検索したら、ABC錠の製造販売会社であるXYZ製薬株式会社のサイトの以下の情報が表示されました。あなたは、どの情報を最初に閲覧すると思いますか。
 ※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択_副作用情報選択の理由

- “ABC錠の副作用について”は「必要な情報がありそう」、「ABC錠ってどんなくすり？」は「分かりやすそう」が最も高かった。
- “ABC錠を服用される患者さんへ”は、「必要な情報がありそう」と「分かりやすそう」が同等であった。



※回答ベース：
Q16検索結果について「どれをみたら
良いかわからない」と回答した人以外

※n<30は参考値

※2%未満の数値は非表示

Q17. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠：製造販売元 XYZ製薬株式会社とします) について、あなたが自身がインターネットで検索したら、以下のように表示された内容を最も選ぶと思うとお答えになりましたが、その理由として最もあてはまるものをお知らせください。
【該当疾患】(選択された疾患名) * 【表示された内容から最も選ぶと思う】(Q16で回答した内容が表示) *割付に応じて表示

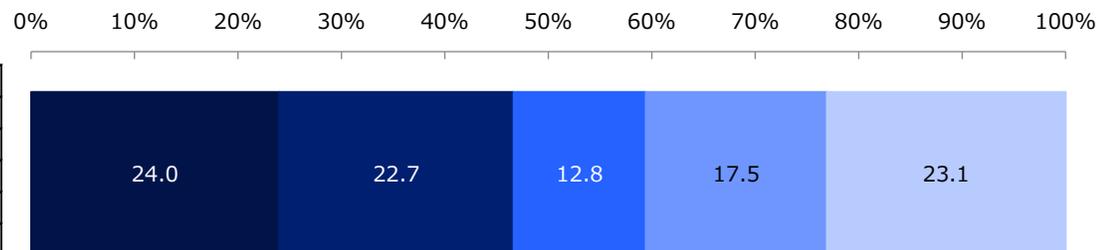
検索結果からの選択_患者さん向けの情報がまとまったサイト①

- 「患者向医薬品ガイド」が24%で最も高く、次いで「RMP資材（患者向け）」が僅差で続いた。
- 「どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）」もほぼ同等であった。

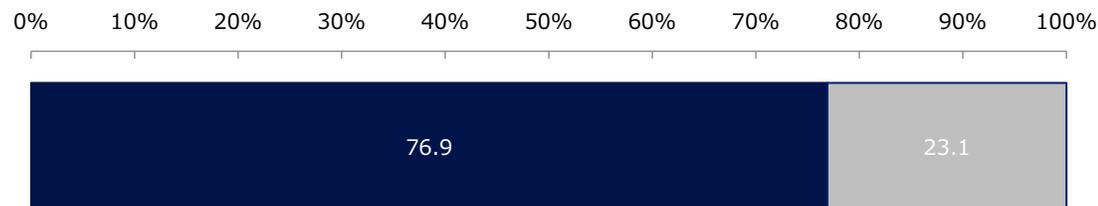
【提示画面】

一般名	セイヤクニブマル酸塩
販売名	ABC錠40mg
製造販売業者等	製造販売/XYZ製薬株式会社
患者向医薬品ガイド	① G_ABC錠40mg
RMP資材	患者向け ② 患者ハンドブック
重篤副作用疾患別対応マニュアル	③ アナフィラキシー 出血傾向
くすりのしおり	④ ABC錠40mg

	n	%
全体	971	100.0
1 患者向医薬品ガイド：G_ABC錠40mg	233	24.0
2 RMP資材（患者向け）：患者ハンドブック	220	22.7
3 重篤副作用疾患別対応マニュアル：アナフィラキシー 出血傾向	124	12.8
4 くすりのしおり：ABC錠40mg	170	17.5
5 どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）	224	23.1



■ 患者向医薬品ガイド：G_ABC錠40mg
 ■ RMP資材（患者向け）：患者ハンドブック
 ■ 重篤副作用疾患別対応マニュアル：アナフィラキシー 出血傾向
 ■ くすりのしおり：ABC錠40mg
 ■ どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）



■ 知りたいと思っていたことがある □ 知りたいと思っていたことはない、わからない

Q18. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、患者さん向けの情報がまとまったサイト (図を参照) が表示されました。あなたは、どの情報を最初に閲覧すると思いますか。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

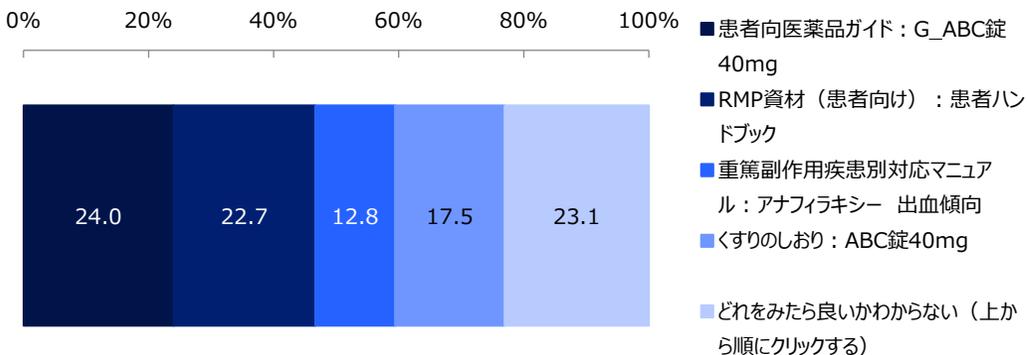
検索結果からの選択_患者さん向けの情報がまとまったサイト②

- 「RMP資材（患者向け）」が49%で最も高く、次いで「どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）」が続いた。
- 「どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）」は文言を追記する前と比べて5pt減で、それほど変わらなかった。

【提示画面】

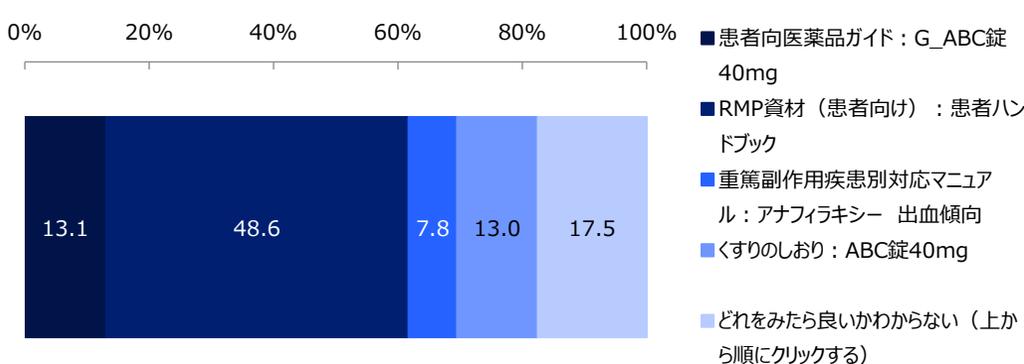
一般名	セイヤクニブフマル酸塩
販売名	ABC錠40mg
製造販売業者等	製造販売/XYZ製薬株式会社
患者向医薬品ガイド	① G_ABC錠40mg
RMP資材	② 患者ハンドブック まずはこちらをお読みください。
重篤副作用疾患別対応マニュアル	③ アナフィラキシー 出血傾向
くすりのしおり	④ ABC錠40mg

【Q18】



	n	%
全体	971	100.0
1 患者向医薬品ガイド：G_ABC錠40mg	233	24.0
2 RMP資材（患者向け）：患者ハンドブック	220	22.7
3 重篤副作用疾患別対応マニュアル：アナフィラキシー 出血傾向	124	12.8
4 くすりのしおり：ABC錠40mg	170	17.5
5 どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）	224	23.1

【Q19】



	n	%
全体	971	100.0
1 患者向医薬品ガイド：G_ABC錠40mg	127	13.1
2 RMP資材（患者向け）：患者ハンドブック	472	48.6
3 重篤副作用疾患別対応マニュアル：アナフィラキシー 出血傾向	76	7.8
4 くすりのしおり：ABC錠40mg	126	13.0
5 どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）	170	17.5

Q19. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、患者さん向けの情報がまとまったサイト (図を参照) が表示されました。あなたは、どの情報を最初に閲覧すると思いますか。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

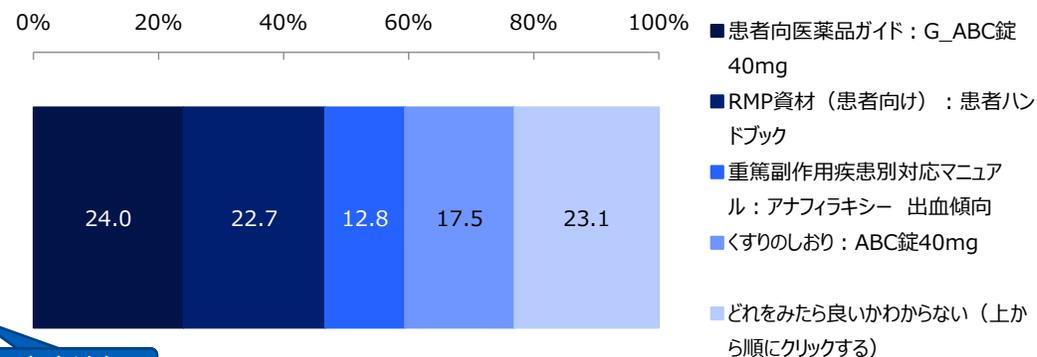
検索結果からの選択_患者さん向けの情報がまとまったサイト③

■ 「患者向医薬品ガイド」が33%で最も高く、次いで僅差で「RMP資材（患者向け）」が続いた。「どれをみたら良いかわからない（上から順にクリックする）」は文言を追記する前と比べて6pt減で、それほど変わらなかった。

【提示画面】

一般名	セイヤクニブマル酸塩
販売名	ABC錠40mg
製造販売業者等	製造販売/XYZ製薬株式会社
患者向医薬品ガイド	① G_ABC錠40mg 医薬品を使用するときに、患者さんやご家族に特に知っていただきたいことを記載しています。
RMP資材	患者向け ② 患者ハンドブック 患者さんにご注意いただきたいことをわかりやすくまとめた冊子です。
重篤副作用疾患別対応マニュアル	③ アナフィラキシー 出血傾向
くすりのしおり	④ ABC錠40mg

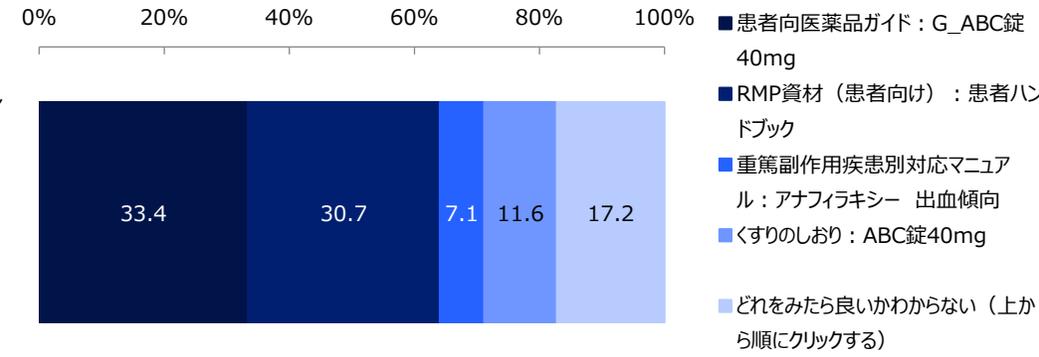
【Q18】



赤字追加

	n	%
全体	971	100.0
1 患者向医薬品ガイド : G_ABC錠40mg	233	24.0
2 RMP資材 (患者向け) : 患者ハンドブック	220	22.7
3 重篤副作用疾患別対応マニュアル : アナフィラキシー 出血傾向	124	12.8
4 くすりのしおり : ABC錠40mg	170	17.5
5 どれをみたら良いかわからない (上から順にクリックする)	224	23.1

【Q20】



	n	%
全体	971	100.0
1 患者向医薬品ガイド : G_ABC錠40mg	324	33.4
2 RMP資材 (患者向け) : 患者ハンドブック	298	30.7
3 重篤副作用疾患別対応マニュアル : アナフィラキシー 出血傾向	69	7.1
4 くすりのしおり : ABC錠40mg	113	11.6
5 どれをみたら良いかわからない (上から順にクリックする)	167	17.2

Q20. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、患者さん向けの情報がまとまったサイト (図を参照) が表示されました。あなたは、どの情報を最初に見るとお考えですか。 【該当疾患】(選択された疾患名) * *割付に応じて表示

検索結果からの選択_情報媒体別

■ どの媒体で検索した場合でも、PDFや動画よりも、通常の見出しを最初に閲覧する割合が最も高かった。



- **ABC錠を服用されるかたへ (XYZ製薬会社)**
2023/7/20 ABC錠は〇〇の治療に使われるお薬です。1日1回食後に服用します
- **ABC錠を服用されるかたへ (XYZ製薬会社) PDF**
2023/7/20 ABC錠は〇〇の治療に使われるお薬です。1日1回食後に服用します
- **ABC錠を服用されるかたへ (XYZ製薬会社) 動画**
2023/7/20 ABC錠は〇〇の治療に使われるお薬です。1日1回食後に服用します
- 該当機器で検索は行わない

Q22. (あなたご自身) 又は (現在あなたと同居中のご家族) *が処方されている以下の疾患の治療のためのお薬 (ABC錠とします) について、あなたご自身がインターネットで検索したら、ABC錠の製造販売会社であるXYZ製薬株式会社のサイトの以下の情報が表示されました。あなたは、どの情報を最初に閲覧すると思いますか。 ※検索結果が、以下の順番で表示された場合を想定してお答えください。【該当疾患】(選択された疾患名) * 1. パソコンで検索した場合 / 2. スマートフォンで検索した場合 / 3. タブレット型端末で検索した場合 *割付に応じて表示

Appendix

本調査実施に向けた仮説

本調査の実施にあたり、事前に想定していた仮説は以下のとおりである。

1. 患者さんの視点からすると、安全性情報に対するニーズは、疾患ごとに大きく異なることが想定される（疾患の重篤性や治療薬剤による副作用の経験割合などが疾患により異なることから、安全性情報への関心にも差が生じること想定される）。
2. 患者さんが医薬品情報を調べる際、医師・薬剤師以外の情報入手方法としてインターネット検索が最上位に来るという複数の調査結果^{1),2),3)}がある。一方で、患者さん向けの最適な情報提供プラットフォームはまだ確立していない状況であるため、検索結果の閲覧基準は、患者さんの疾患特性や、デジタルリテラシーにより異なる。
3. 最適な情報提供プラットフォームの有力候補として、公式なサイトとしては、PMDA WEBサイト（患者さん向け）があり、RMP資材や患者向医薬品ガイドなどが掲載されている。一方で、ユーザーフレンドリーな構造や表示になっていない、PMDAの認知度が低いため閲覧されない、などの課題も存在しており、患者さんへ適切な情報を届けるための機会を逸している可能性が高い。

1) 第17回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査 調査結果報告書、製薬協 2023年12月

[\[くすりと製薬産業に関する生活者意識調査\]報告書 | 刊行物 | 日本製薬工業協会 \(jpma.or.jp\)](#)

2) 医療用医薬品の調べ方調査、くすりの適正使用協議会 2021年5月20日 [医療用医薬品の調べ方調査（くすりの適正使用協議会）](#)

3) 医薬品を使用している患者の医薬品等情報の収集におけるインターネット利用実態 —糖尿病治療薬服用中の患者を対象とした調査—、丸山加奈ら Jpn. J. Drug Inform., 23 (2): 99~108 (2021).

疾患による患者さんの安全性情報のニーズや情報収集行動の違い

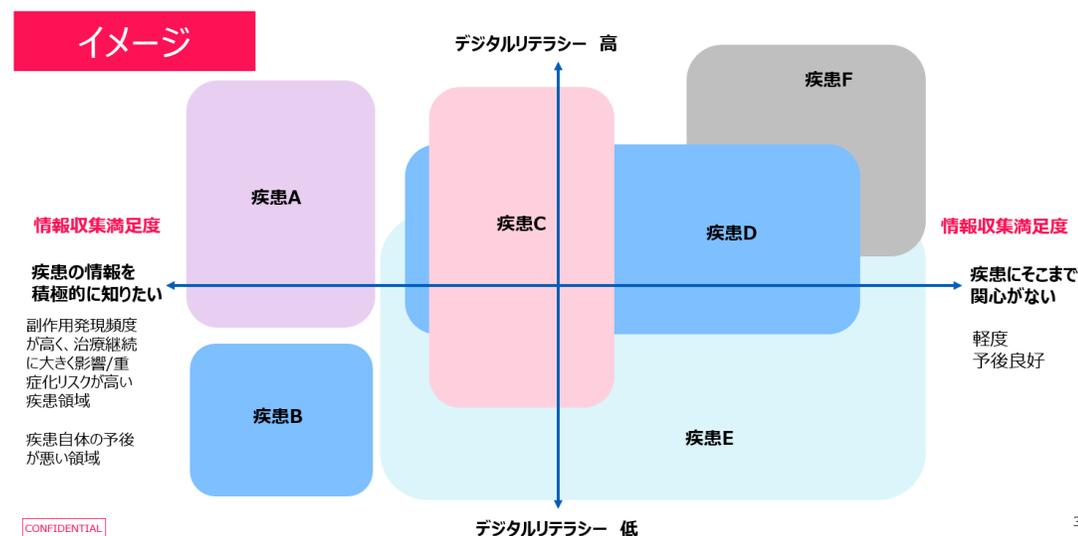
- ✓ 予後が悪い疾患領域や治療薬による副作用発現頻度が高く治療継続に大きく影響する/副作用の重症化リスクが高い疾患領域と、疾患自体は軽度で予後が良好/医薬品による治療への忍容性が高い疾患領域では、安全性情報に対するニーズや医薬品の情報収集への意欲や取り組み方は異なっており、疾患ごとの特性をマッピング（以下イメージ）できると考えた。

そこで、本アンケートでは、

1. 対象疾患を絞り、疾患による特性を確認することとした。
また、一部の疾患では患者さんのご家族も回答者とした。
2. 医薬品情報が充実しており、医療関係者から情報提供を受けている可能性が高い、比較的最近承認された薬剤で治療を受けている方を対象とした。
3. 上記の前提で、必要な回答者数が得られる以下の疾患を対象とした。

(本人) 関節リウマチ、乳がん*、糖尿病、うつ病、
アトピー性皮膚炎、過敏性腸症候群
(ご家族) 乳がん、うつ病、アトピー性皮膚炎

*ホルモン療法又は分子標的薬で治療



3

疾患ごとの本調査対象者条件の処方薬剤

3 あなたご自身が「関節リウマチで治療中」と回答された方にお伺いします。
あなたが現在処方されている薬があれば、当てはまるものにチェックしてください。
「当てはまるものがない」、「わからない」、「薬で治療されていない」場合は「該当するものはない」を選んでください。

※代表的な薬剤の商品名を示しています。（一部後発品の一般名を含む）

- 消炎鎮痛剤（NSAIDs）（ロキソニン、ロキソプロフェン、セレコックス、セレコキシブ、ボルタレン、ナボール、シクロフェナクなど）
- 抗リウマチ薬（DMARDs）（リウマチドックス、メトトレキサート、ケアラム、イグランチド、アラバなど）
- ステロイド（プレドニン、プレドニゾン、メドロール、リロサル、ベタメタゾン、リンデロン、テカドロン、リメタゾン、オルガドロン、デキサート、デキサメタゾンなど）
- 生物学的製剤（レミケード、インフリキシマブ、ヒュミラ、アダリムマブ、シンボニー、シムジア、ナゾラ、エンブレル、エタネルセプ、アクテムラ、クバザラ、オレンシア）
- JAK阻害剤（ゼルマックス、オルミエント、ヌマイラフ、リンヴォック、ジセラカ）
- 該当するものはない

4 あなたご自身またはあなたの同居家族が「乳がんで治療中」と回答された方にお伺いします。
あなたもしくはあなたの同居家族が現在処方されている薬があれば、当てはまるものにチェックしてください。
「当てはまるものがない」、「わからない」、「薬で治療されていない」場合は「該当するものはない」を選んでください。

※代表的な薬剤の商品名を示しています。（一部後発品の一般名を含む）

- ホルモン療法薬（アナストロゾール、エキセメスタン、ゾラテックス、タモキシフェン、トレミフェン、フェソドテックス、メトキシプロゲステロン、リュープロレリン、レトロゾールなど）
- 小分子化合物（ベジーニオ、リムバーザ、アフィニートール、イブランス、タイケルブ）
- 細胞障害性抗がん薬（イリリテカン、エリビジン、ハラヴェン、カベシタピン、ゲムシタピン、シクロホスファミド、シスプラチン、テガフル・ウラシル、テガフル・ギメラシル・オテラシル、ドキシフルリジン、ドキシソルピジン、ドセタキセル、バクタキセル、アプタキサン、ビニルビン、フルオロウラシル、マイトマイシンC、ミトキサントロン、メトトレキサート、フルモルピジン、など）
- 分子標的薬（ランマーク、トラスツズマブ、カドサイラ、エンハーツ、ペバシズマブ、パーゼジャ、フェスゴ、タイケルブ）
- 免疫チェックポイント阻害薬（キイトルーダ、テセントリク）
- 該当するものはない

5 あなたご自身が「糖尿病で治療中」と回答された方にお伺いします。
あなたが現在処方されている薬があれば、当てはまるものにチェックしてください。
「当てはまるものがない」、「わからない」、「薬で治療されていない」場合は「該当するものはない」を選んでください。

※代表的な薬剤の商品名を示しています。（一部後発品の一般名を含む）

- スルホニル尿素薬（グリベンクラミド、グリクラジド、グリメピリド）
- 速効型インスリン分泌促進薬（グリニド薬）（ナテグリニド、ミチグリニド、レバグリニド）
- DPP-4阻害薬（グラクテブ、ジャヌビア、エウア、ネシーナ、トラゼンタ、テネリア、スニー、オングリザ、ザファテック、マリセバ）
- GLP-1受容体作動薬（ビクトーザ、バイエッタ、ビデュリオン、リクスミア、トルリシテ、オゼンピック、リベルサス、マンジャロ）
- グリニン系（ツミエグ）
- ピグアナイド薬（メトグルコ、メトホルミン）
- チアソリン薬（ピオグリタゾン）
- α-グルコシターゼ阻害薬（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）
- SGLT2阻害薬（スーグラ、フォシーガ、ルセフィ、デベルザ、アパルウェイ、カナグル、ジャディアンス）
- 配合剤（メトアナ、リオベル、イニシク、トラチアンス、スージャス、カリアア、ソニアス、メタクト、グルベス）
- インスリン製剤
- 該当するものはない

6 あなたご自身またはあなたの同居家族が「うつ病で治療中」と回答された方にお伺いします。
あなたもしくはあなたの同居家族が現在処方されている薬があれば、当てはまるものにチェックしてください。
「当てはまるものがない」、「わからない」、「薬で治療されていない」場合は「該当するものはない」を選んでください。

- SSRI（ルボックス、デプロメール、フルボキサミン、パキシル、パロキセチン、ジェイロフト、セルトラリン、レキサプロム、エシタロプラム）
- SNRI（トレドミン、ミルナシبران、サインバルタ、デュロキセチン、イフェクター）
- NaSSA（リフレックス、レメロン、ミルタザピン）
- セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節剤（トリンテックス）
- DSS、SDAM（エビファイ、アリピプラゾール、レキサリテリ）
- 抗不安薬（ロラゼパム、ワイパックス、コンスタン、ソラナックス、アルプラゾラム、メイラックス、ロフラゼパ、デパス、エチゾラム）
- セロトニン遮断再取り込み阻害薬（トラゾドン、レスリン、デジレル）
- 抗うつ薬（ドグマチール、スルピリド）
- 該当するものはない

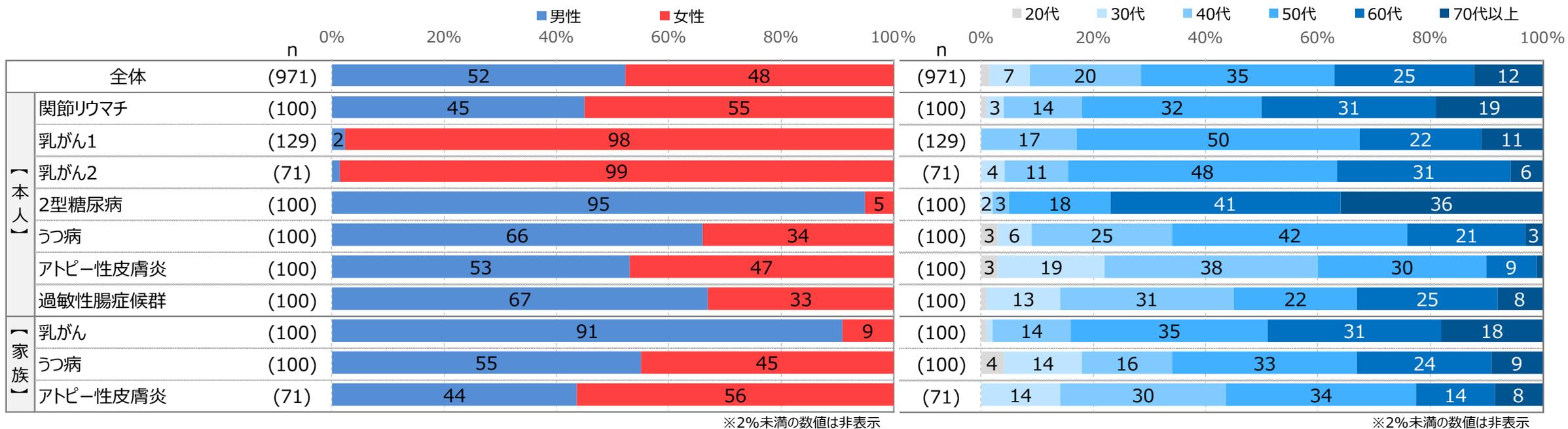
7 あなたご自身またはあなたの同居家族が「アトピー性皮膚炎で治療中」と回答された方にお伺いします。
あなたもしくはあなたの同居家族が現在処方されている薬があれば、当てはまるものにチェックしてください。
「当てはまるものがない」、「わからない」、「薬で治療されていない」場合は「該当するものはない」を選んでください。

- ステロイド（塗り薬）
- ステロイド（飲み薬）
- カルシニューリン阻害薬（塗り薬）（プロトピック、タクロリムス）
- カルシニューリン阻害薬（飲み薬）（ネオオール、シクロスボリン）
- JAK阻害薬（塗り薬）（コレクナム）
- JAK阻害薬（飲み薬）（サイバインゴ、リンヴォック、オルミエント）
- PDE4阻害薬（塗り薬）（モイゼルト）
- 生物学的製剤（注射剤）（デュピクセント、アドトラゼ、ミチーガ）
- 該当するものはない

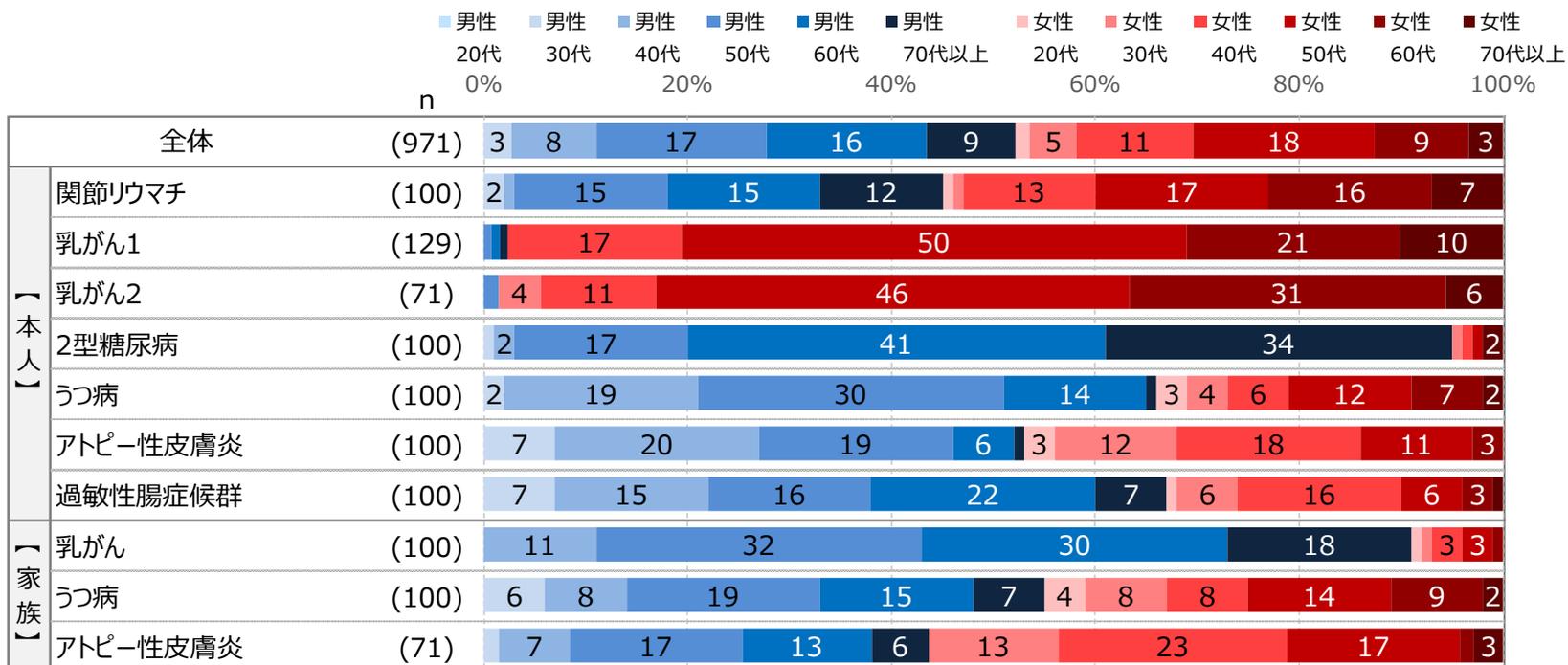
8 あなたご自身が「過敏性腸症候群で治療中」と回答された方にお伺いします。
あなたが現在処方されている薬があれば、当てはまるものにチェックしてください。
「当てはまるものがない」、「わからない」、「薬で治療されていない」場合は「該当するものはない」を選んでください。

- セロトニン 5-HT3受容体拮抗薬（イリボー）
- 高分子重合体（ポリカルボフィルカルシウム、コロネル、ポリフル）
- 粘膜上皮機能変容薬（リンゼス、アミティーザ、グーフイス）
- 消化管機能調節薬（トリメプテンマレイン酸塩、セレクノ）
- 抗コリン薬（メベンゾラト臭化物、トランコロン、ブチルスコポラミン臭化物、ブスコパン、チキジウム臭化物、チアトン）
- 乳酸菌製剤（ピオフォルミン、ピオスリー、ラックビー）
- 該当するものはない

回答者ご本人の性別／年代



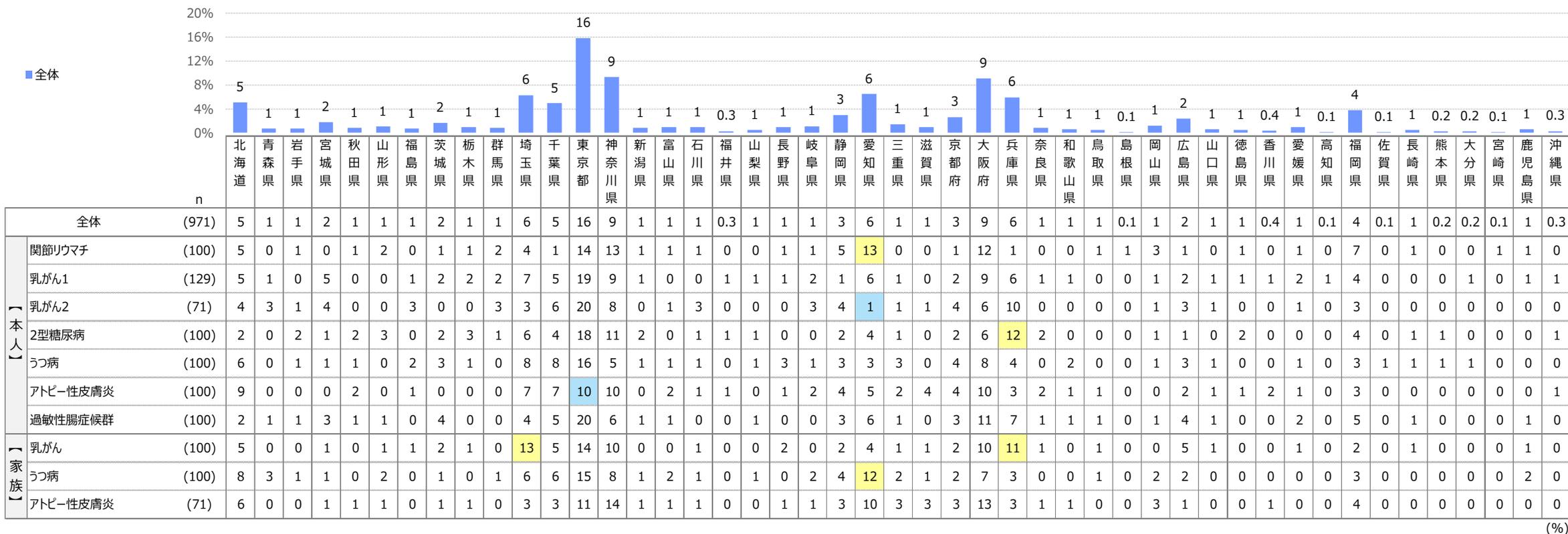
回答者ご本人の性別／年代



※2%未満の数値は非表示

SC1.あなたの性年代をお知らせください。

都道府県



* ■は全体+5ポイント以上、■は-5ポイント以下

罹患状況「あなたご自身」

※回答ベース：本人回答者



※全体で降順ソート (%)

* ■は全体+5ポイント以上、■は-5ポイント以下

SC2.「あなたご自身」または「あなたと現在同居されているご家族の方」で、以下の中に現在治療中の疾患があればすべてお知らせください。

※現在経過観察のため、通院している疾患も含めてお答えください。1.あなたご自身

罹患状況「あなたと現在同居しているご家族の方」

※回答ベース：家族回答者



※全体で降順ソート (%)

* ■は全体+5ポイント以上、■は-5ポイント以下

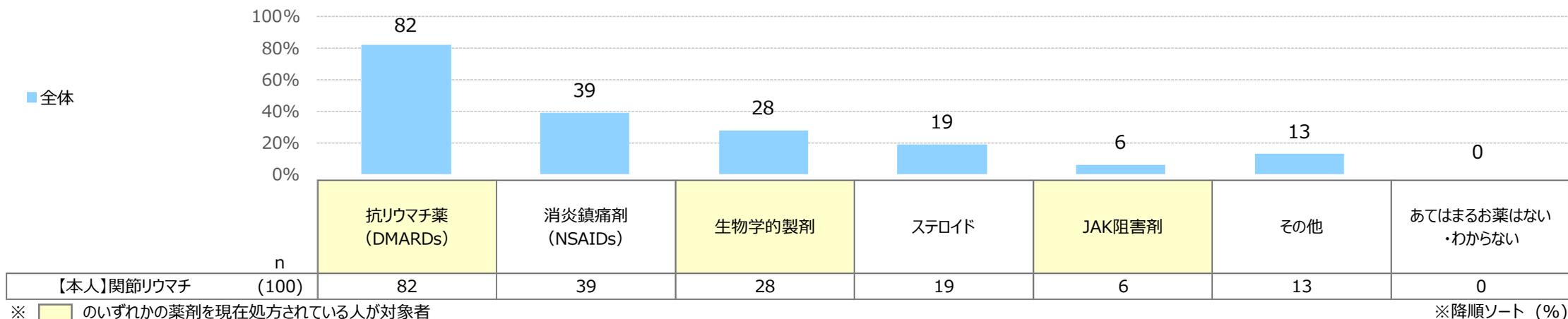
SC2.「あなたご自身」または「あなたと現在同居されているご家族の方」で、以下の中に現在治療中の疾患があればすべてお知らせください。

※現在経過観察のため、通院している疾患も含めてお答えください。2.あなたと現在同居しているご家族の方

関節リウマチの治療状況

- 抗リウマチ薬（DMARDs）（リウマトレックス、メトトレキサート、ケアラム、イグラチモド、アラバなど）
- 消炎鎮痛剤（NSAIDs）（ロキソニン、ロキソプロフェン、セレコックス、セレコキシブ、ボルタレン、ナポール、ジクロフェナクなど）
- 生物学的製剤（レミケード、インフリキシマブ、ヒュミラ、アダリムマブ、シンボニー、シムジア、ナノゾラ、エンブレル、エタネルセプト、アクテムラ、ケブザラ、オレンシア）
- ステロイド（プレドニン、プレドニゾン、メドロール、リノロサル、ベタメタゾン、リンデロン、デカドロン、リメタゾン、オルガドロン、デキサート、デキサメタゾンなど）
- JAK阻害剤（ゼルヤンツ、オルミエント、スマイラフ、リンヴォック、ジセラカ）

※回答ベース：
本人_関節リウマチ罹患者



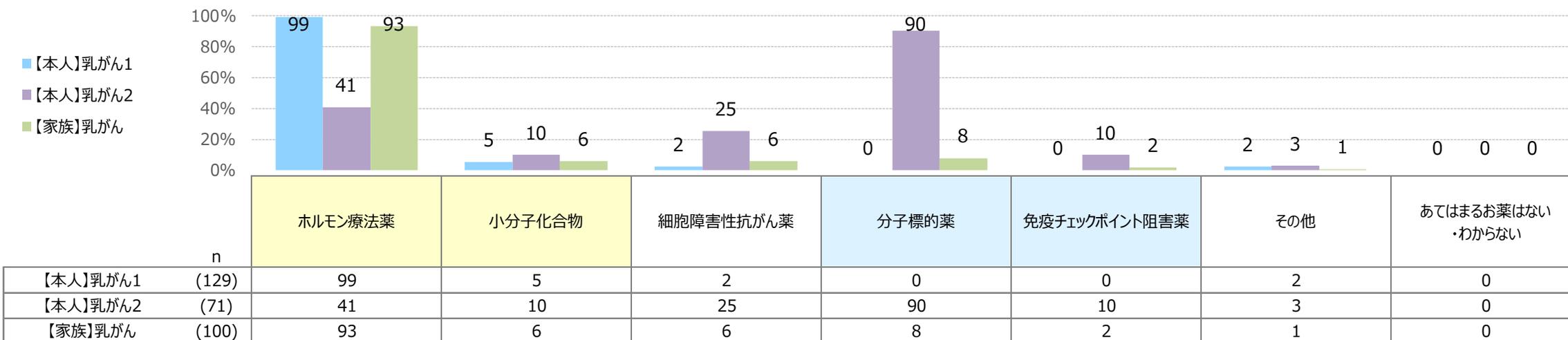
※ ■ のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者

SC3.先ほど、あなたご自身は現在「関節リウマチ」の治療中であると答えになりましたが、「関節リウマチ」の治療のために現在処方されているお薬をすべてお知らせください。
(いくつでも) ※代表的な薬剤の商品名を示しています。(一部後発品の一般名を含む)

乳がんの治療状況

- ホルモン療法薬（アナストロゾール、エキセメスタン、ゾラデックス、タモキシフェン、トレミフェン、フェソロデックス、メドロキシプロゲステロン、リュープロレリン、レトロゾールなど）
- 小分子化合物（ベージニオ、リムパーザ、アフィニトール、イブランス、タイケルブ）
- 細胞障害性抗がん薬
（イリノテカン、エビルピシン、ハラヴェン、カペシタピン、ゲムシタピン、シクロホスファミド、シスプラチン、テガフル・ウラシル、テガフル・ギメラシル・オテラシル、ドキシフルリジン、ドキソルピシン、ドセタキセル、パクリタキセル、アブラキサン、ビノレルビン、フルオロウラシル、マイトマイシンC、ミトキサントロン、メトトレキサート、ファルモルピシン、など）
- 分子標的薬（ランマーク、トラスツズマブ、カドサイラ、エンハーツ、ペバシズマブ、パーゼタ、フェスゴ、タイケルブ）
- 免疫チェックポイント阻害薬（キイトルーダ、テセントリク）

※回答ベース：
乳がん罹患患者orそのご家族



- ※【本人】乳がん1 のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者 (%)
- ※【本人】乳がん2 のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者
- ※【家族】乳がん のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者

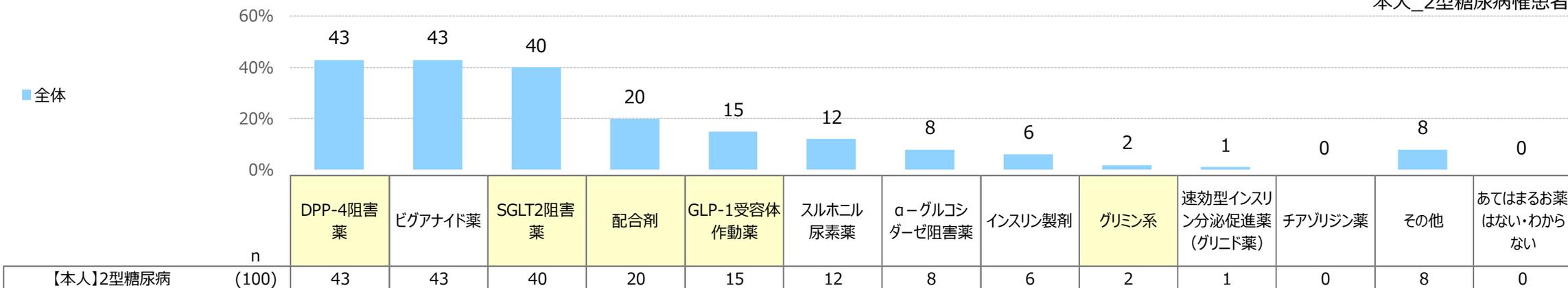
※乳がん1:ホルモン療法、または小分子化合物を処方されている。/乳がん2：分子標的薬、または免疫チェックポイント阻害薬を処方されている。両方に該当する場合、乳がん2に割付。

SC4.先ほど、あなたご自身、または/かつ同居中のご家族の方は現在「乳がん」の治療中であると答えになりましたが、「乳がん」の治療のために現在処方されているお薬をすべてお知らせください。※代表的な薬剤の商品名を示しています。（一部後発品の一般名を含む）1.あなたご自身/2.あなたと現在同居しているご家族の方

糖尿病の治療状況

- DPP-4阻害薬 (グラクティブ、ジャヌビア、エクア、ネシーナ、トラゼンタ、テネリア、スイニー、オングリザ、ザファテック、マリゼブ)
- ビグアナイド薬 (メトグルコ、メトホルミン)
- SGLT2阻害薬 (スーグラ、フォシーガ、ルセフィ、デベルザ、アブルウェイ、カナグル、ジャディアンス)
- 配合剤 (メトアナ、リオベル、イニシンク、トラディアンス、スージャヌ、カナリア、ソニアス、メタクト、グルベス)
- GLP-1受容体作動薬 (ピクトーザ、パイエッタ、ピデュリオン、リクスマリア、トルリシティ、オゼンピック、リベルサス、マンジャロ)
- スルホニル尿素薬 (グリベンクラミド、グリクラジド、グリメピリド)
- α-グルコシダーゼ阻害薬 (アカルボース、ボグリボース、ミグリトール)
- グリミン系 (ツイミーグ)
- 速効型インスリン分泌促進薬 (グリニド薬) (ナテグリニド、ミチグリニド、レバグリニド)
- チアゾリジン薬 (ビオグリタゾン)

※回答ベース：
本人_2型糖尿病患者



※ ■ のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者

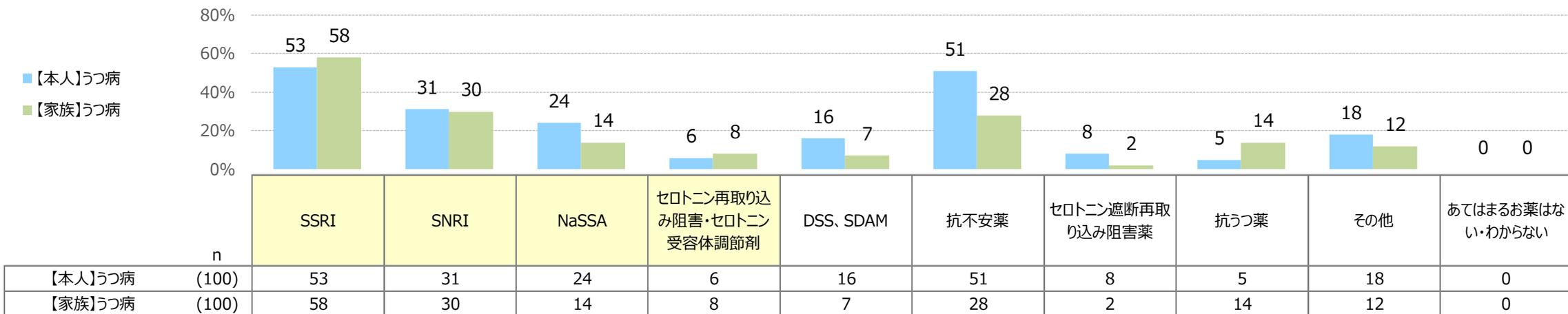
※降順ソート (%)

SC5.先ほど、あなたご自身は現在「2型糖尿病」の治療中であるとお答えになりましたが、「2型糖尿病」の治療のために現在処方されているお薬をすべてお知らせください。(いくつかでも) ※代表的な薬剤の商品名を示しています。(一部後発品の一般名を含む)

うつ病の治療状況

- SSRI (ルボックス、デプロメール、フルボキサミン、パキシル、パロキセチン、ジェイゾロフト、セルトラリン、レキサプロ、エスタロプラム)
- SNRI (トレドミン、ミルナシبران、サインバルタ、デュロキセチン、イフェクサー)
- NaSSA (リフレックス、レメロン、ミルタザピン)
- セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節剤 (トリンデルックス)
- DSS、SDAM (エビリファイ、アリピプラゾール、レキサルティ)
- 抗不安薬 (ロラゼパム、ワイバックス、コンスタン、ソラナックス、アルプラゾラム、メイラックス、ロフラゼプ、デパス、エチゾラム)
- セロトニン遮断再取り込み阻害薬 (トラゾドン、レスリン、デジレル)
- 抗うつ薬 (ドグマチール、スルピリド)

※回答ベース：
うつ病患者orそのご家族



※ のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者

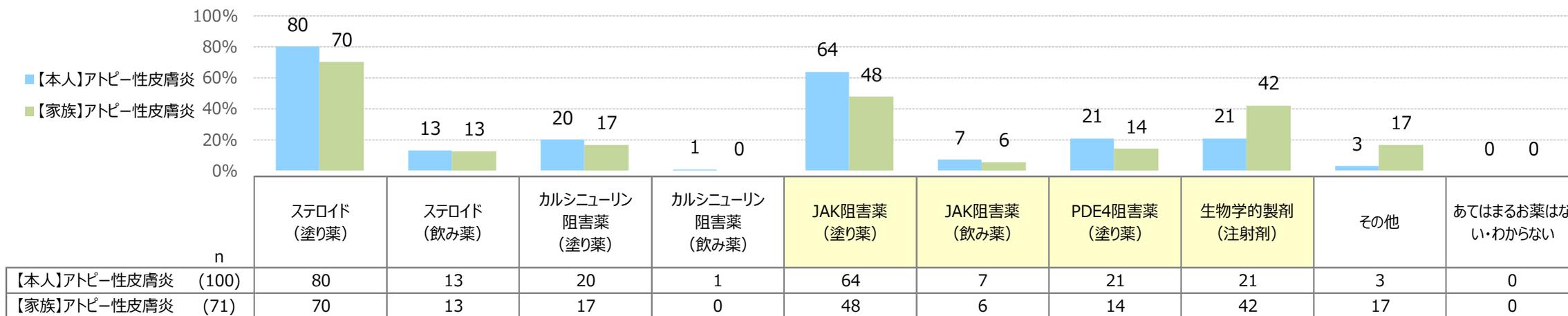
(%)

SC6.先ほど、あなたご自身、または/かつ同居中のご家族の方は現在「うつ病」の治療中であると答えになりましたが、「うつ病」の治療のために現在処方されているお薬をすべてお知らせください。※代表的な薬剤の商品名を示しています。(一部後発品の一般名を含む) 1.あなたご自身/2.あなたと現在同居しているご家族の方

アトピー性皮膚炎の治療状況

- ・ カルシニューリン阻害薬（塗り薬）（プロトピック、タクロリムス）
- ・ カルシニューリン阻害薬（飲み薬）（ネオーラル、シクロスボリン）
- ・ JAK阻害薬（塗り薬）（コレクチム）
- ・ JAK阻害薬（飲み薬）（サイバインコ、リンヴォック、オルミエント）
- ・ PDE4阻害薬（塗り薬）（モイゼルト）
- ・ 生物学的製剤（注射剤）（デュピクセント、アドトラゼ、ミチーガ）

※回答ベース：
アトピー性皮膚炎罹患者orそのご家族



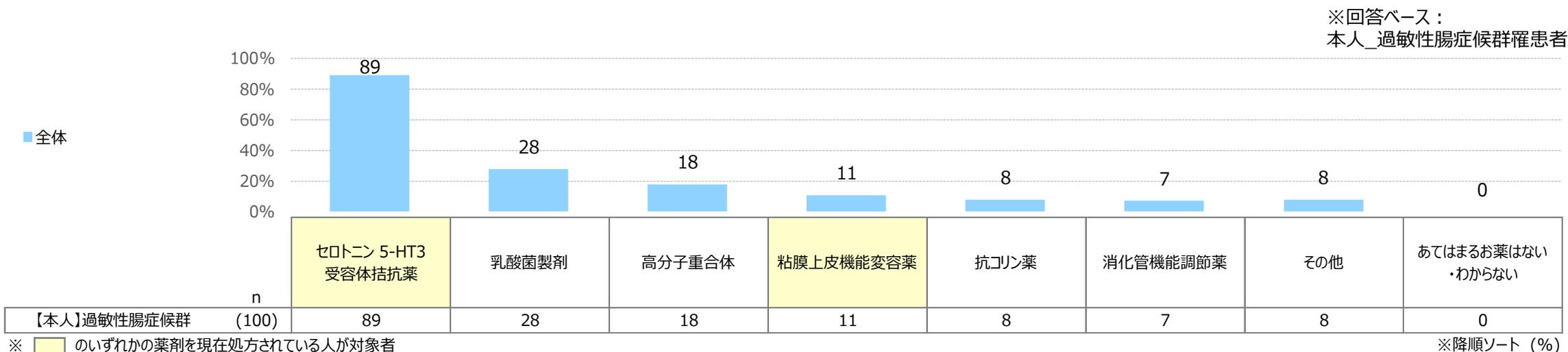
※ のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者

(%)

SC7.先ほど、あなたご自身、または/かつ同居中のご家族の方は現在「アトピー性皮膚炎」の治療中であると回答になりましたが、「アトピー性皮膚炎」の治療のために現在処方されているお薬をすべてお知らせください。※ 代表的な薬剤の商品名を示しています。（一部後発品の一般名を含む）1.あなたご自身/2.あなたと現在同居しているご家族の方

過敏性腸症候群の治療状況

- セロトニン 5-HT₃受容体拮抗薬（イリボー）
- 乳酸菌製剤（ビオフェルミン、ビオスリー、ラックビー）
- 高分子重合体（ポリカルボフィルカルシウム、コロネル、ポリフル）
- 粘膜上皮機能変容薬（リンゼス、アミティーザ、グーフイス）
- 抗コリン薬（メベンゾラート臭化物、トランコロン、プチルスコポラミン臭化物、ブスコパン、チキジウム臭化物、チアトン）
- 消化管機能調節薬（トリメブチンマレイン酸塩、セレキノ）



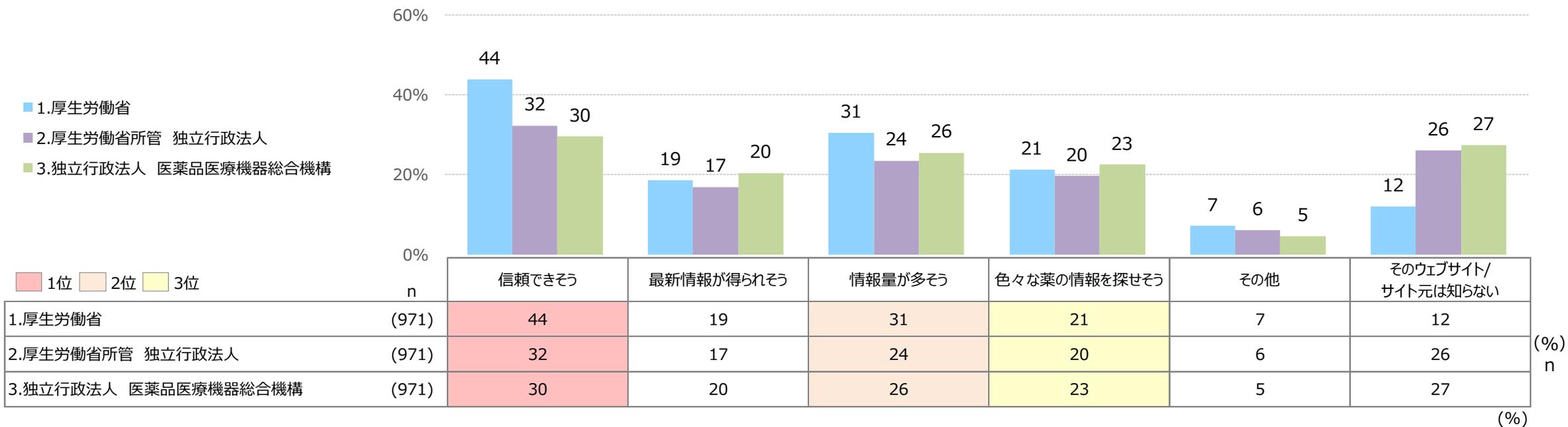
【本人】過敏性腸症候群 (100)

※ のいずれかの薬剤を現在処方されている人が対象者

SC8.先ほど、あなたご自身は現在「過敏性腸症候群」の治療中であるとお答えになりましたが、「過敏性腸症候群」の治療のために現在処方されているお薬をすべてお知らせください。（いくつでも）※代表的な薬剤の商品名を示しています。（一部後発品の一般名を含む）

行政機関のウェブサイトのイメージ

- どのウェブサイトにおいても、「信頼できそう」が最も高く、次いで「情報量が多そう」が続く。
- “厚生労働省所管 独立行政法人”や“独立行政法人 医薬品医療機器総合機構”については、「そのウェブサイト/サイト元は知らない」が3割程に達した。



Q13.薬に関する情報は様々なウェブサイトで公開されており、行政機関のウェブサイトでも情報を見ることができます。以下の行政機関のウェブサイトのイメージにあてはまるものをすべてお知らせください。

作成担当／編集

リーダー兼担当副部長 拡大幹事

竹本 信也（中外製薬株式会社）
北川 南都子（日本イーライリリー株式会社）
篠田 好果（ノバルティス ファーマ株式会社）

野口 正浩	（アステラス製薬株式会社）	原田 郁子	（住友ファーマ株式会社）
奥平 可奈子	（エーザイ株式会社）	中西 晋平	（中外製薬株式会社）
富島 さやか	（大塚製薬株式会社）	田中 佐千代	（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社）
吉田 彩夏	（グラクソ・スミスクライン株式会社）	隅谷 真依	（ファイザー株式会社）

令和6年7月発行

編集

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 ファーマコビジランス部会 TF1
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11

（日本橋ライフサイエンスビルディング）

TEL：03-3241-0326 FAX：03-3242-1767